

Ⅲ 設問間クロス集計データ

(1) あなたの健康

① 体重についての意識 (問10イ)

BMI区分(問10ア)別にみると、「今より増やしたい」は「やせ」で35.5%と高くなっている。「今より少し(4kg以内)減らしたい」は普通で42.1%と高く、「今よりかなり(4kgを超えて)減らしたい」は肥満で53.8%と高くなっている。(図1-1-2)

図1-1-2 体重についての意識(問10イ)(BMI区分別)

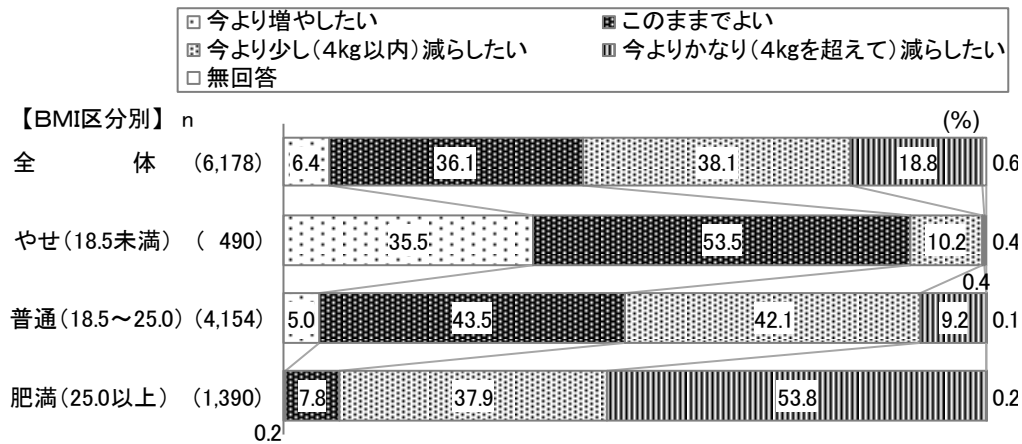


表1-1-1 体重についての意識(問10イ)(BMI区分別・性別)

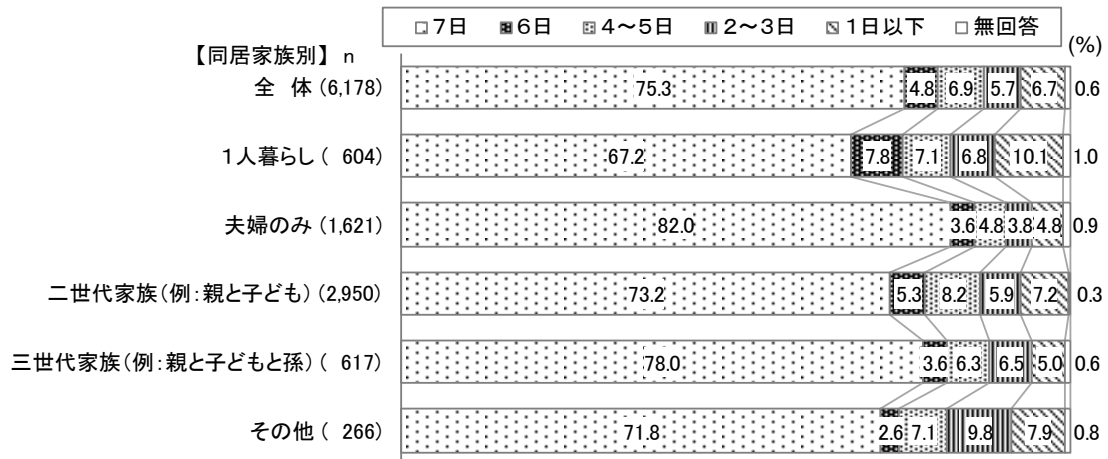
		上段: 実数、下段: 構成比 (%)											
		n	今より増やしたい	このままでよい	内) 減らしたい (4kg以内)	今より少し(4kg以内)減らしたい	今よりかなり(4kgを超えて)減らしたい	無回答					
(男)	男性全体	2,719	215	1,059	958	469	18	100.0	7.9	38.9	35.2	17.2	0.7
	やせ (BMIが18.5未満)	114	67	43	3	-	1	100.0	58.8	37.7	2.6	-	0.9
	普通 (同18.5以上25.0未満)	1,794	144	925	618	103	4	100.0	8.0	51.6	34.4	5.7	0.2
	肥満 (同25.0以上)	768	1	76	328	361	2	100.0	0.1	9.9	42.7	47.0	0.3
	無回答	43	3	15	9	5	11	100.0	7.0	34.9	20.9	11.6	25.6
(女)	女性全体	3,459	183	1,170	1,395	694	17	100.0	5.3	33.8	40.3	20.1	0.5
	やせ (BMIが18.5未満)	376	107	219	47	2	1	100.0	28.5	58.2	12.5	0.5	0.3
	普通 (同18.5以上25.0未満)	2,360	65	883	1,130	280	2	100.0	2.8	37.4	47.9	11.9	0.1
	肥満 (同25.0以上)	622	2	33	199	387	1	100.0	0.3	5.3	32.0	62.2	0.2
	無回答	101	9	35	19	25	13	100.0	8.9	34.7	18.8	24.8	12.9

(2) 栄養・食生活

① 1週間に朝食をとる回数 (問12)

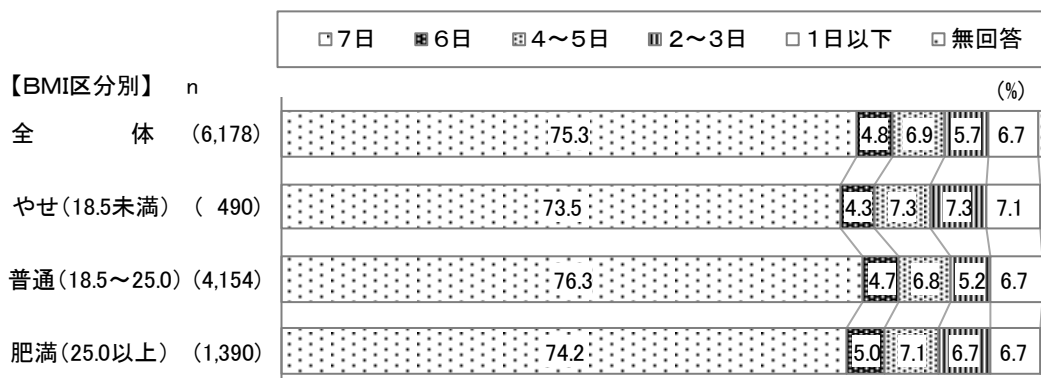
同居家族別にみると、「7日」は「夫婦のみ」で82.0%と最も高く、「1人暮らし」で67.2%と最も低くなっている。また、「7日」は「三世代家族」(78.0%)が「二世代家族」(73.2%)より4.8ポイント高くなっている。(図2-1-1)

図2-1-1 1週間に朝食をとる回数 (同居家族別)



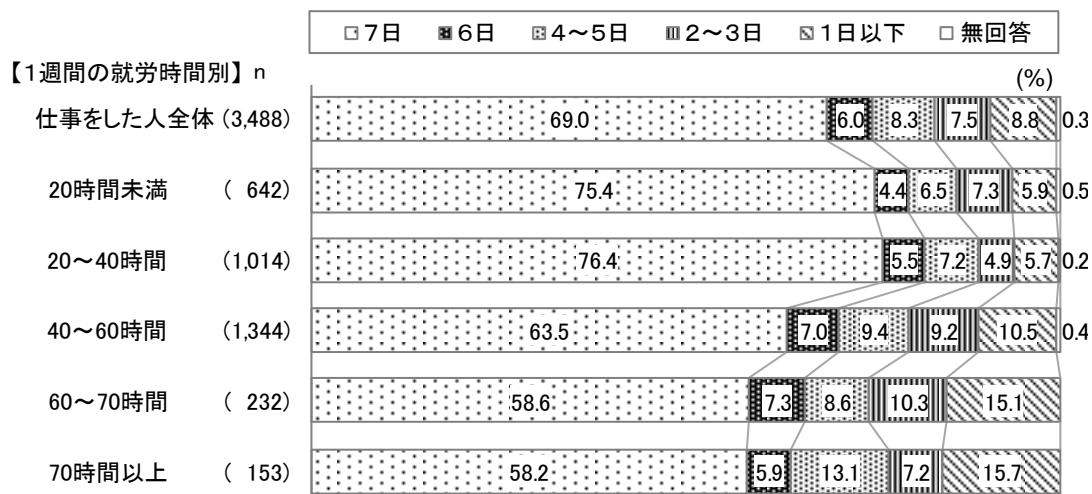
BMI区分 (問10ア) 別にみると、「7日」は「普通」で76.3%と最も高く、「肥満」(74.2%)、「やせ」(73.5%)の順となっている。(図2-1-2)

図2-1-2 1週間に朝食をとる回数 (BMI区分別)



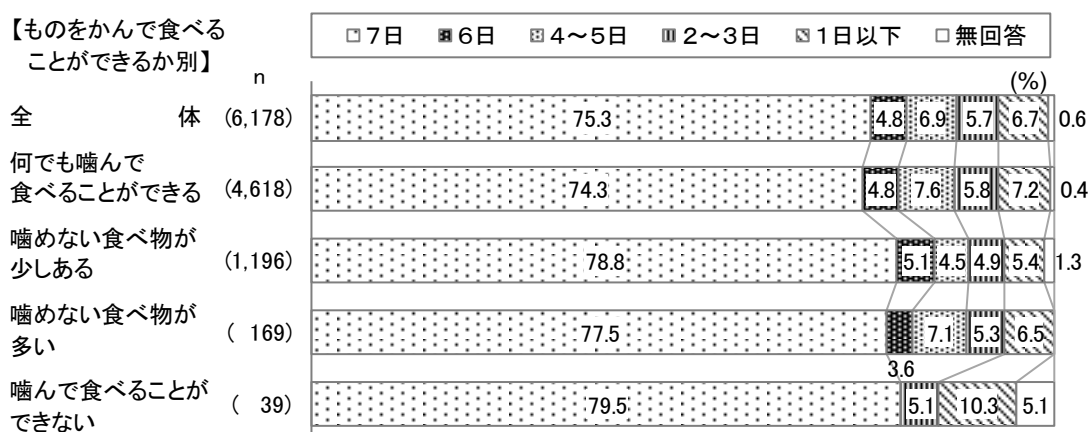
1週間の就労時間（問23-1）別にみると、勤務時間が長くなるほど朝食をとる回数が少ない人の割合が高くなる傾向にある。（図2-1-3）

図2-1-3 1週間に朝食をとる回数（1週間の就労時間別）



ものをかんで食べることができるか（問33）別にみると、「噛んで食べることができない」で、「1日以下」が10.3%と高くなっている。（図2-2-4）

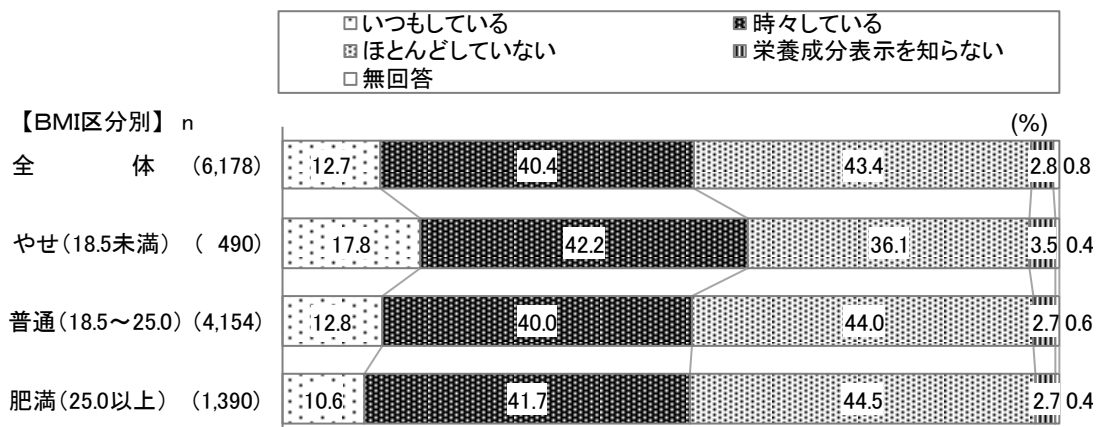
図2-1-4 1週間に朝食をとる回数（ものをかんで食べることができるか別）



② 栄養成分の表示を参考にしているか（問13）

BMI区分（問10ア）別にみると、「いつもしている」は「やせ」で17.8%と高くなっている。一方、「ほとんどしていない」は「普通」（44.0%）、「肥満」（44.5%）が「やせ」（36.1%）より高くなっている。（図2-2-1）

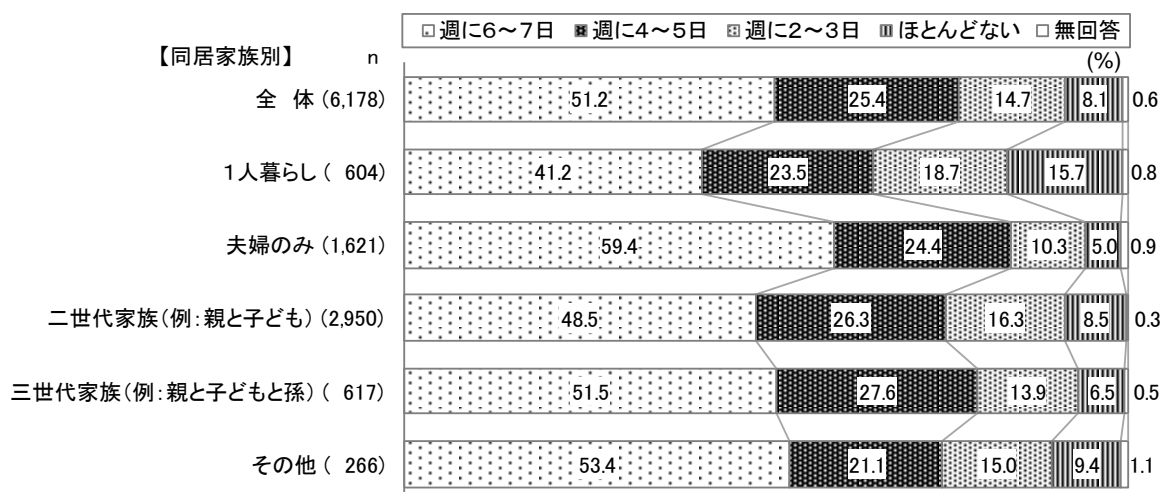
図2-2-1 栄養成分の表示を参考にしているか（BMI区分別）



③ 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（問14）

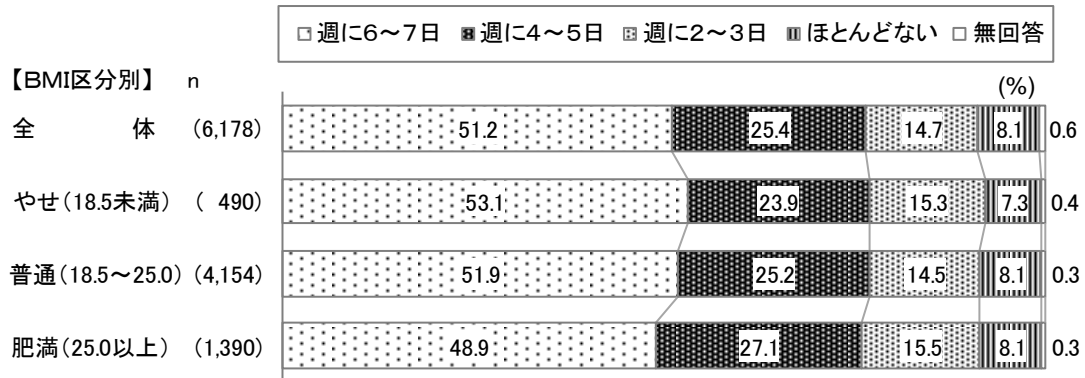
同居家族別にみると、「週に6～7日」は「夫婦のみ」で59.4%と最も高く、「1人暮らし」は41.2%となっており、同居家族がいる人に比べて低くなっている。（図2-3-1）

図2-3-1 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（同居家族別）



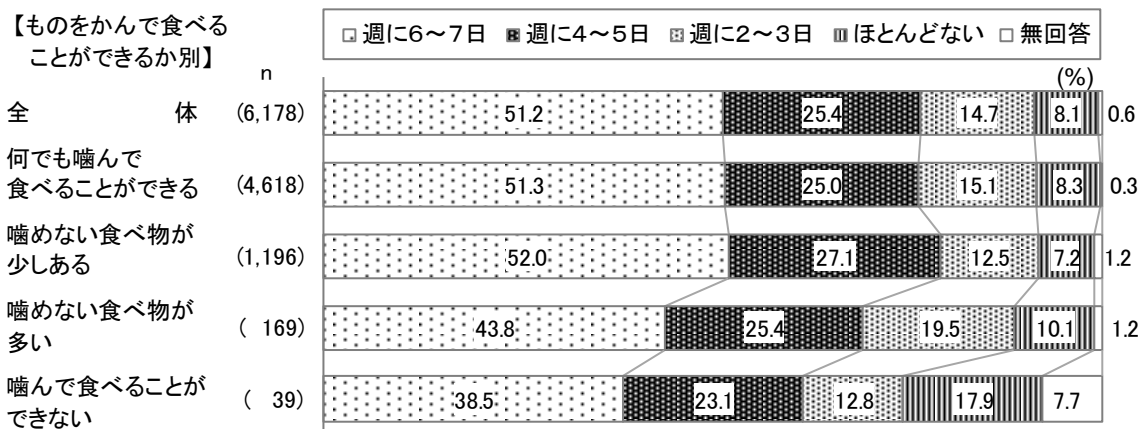
BMI区分（問10ア）別にみると、「週に6～7日」は、「やせ」で53.1%と最も高く、「肥満」で48.9%と低くなっている。（図2-3-2）

図2-3-2 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（BMI区分別）



ものをかんで食べることができるか（問33）別にみると、「週に6～7日」は、「何でもかんで食べることができる」「噛めない食べ物が少しある」で高く、「噛めない食べ物が多い」「噛んで食べることができない」で低くなっている。（図2-3-3）

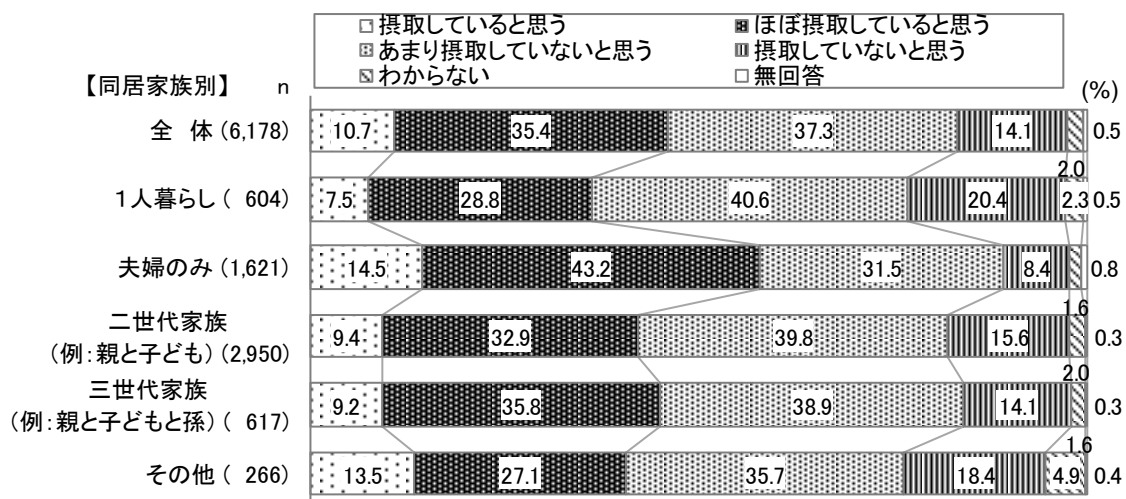
図2-3-3 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度
（ものをかんで食べることができるか別）



④ 野菜摂取についての意識（問15）

同居家族別にみると、「あまり摂取していないと思う」と「摂取していないと思う」の2つを合わせた《摂取していない》は、1人暮らしで61.0%と高くなっている。（図2-4-1）

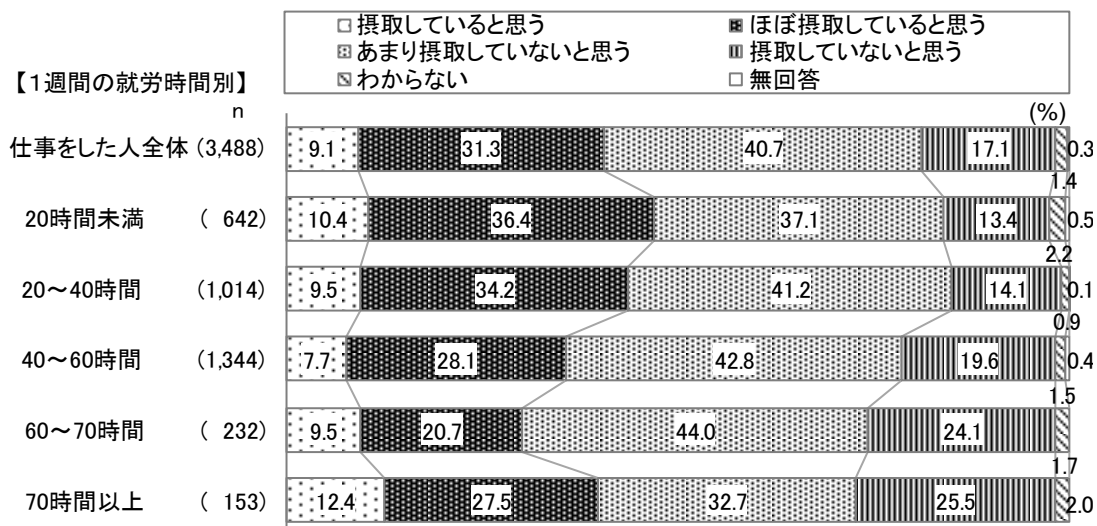
図2-4-1 野菜摂取についての意識（同居家族別）



1週間の就労時間（問23-1）別にみると、「あまり摂取していないと思う」と「摂取していないと思う」の2つを合わせた《摂取していない》は、60～70時間で68.1%と高くなっている。

（図2-4-2）

図2-4-2 野菜摂取についての意識（1週間の就労時間別）

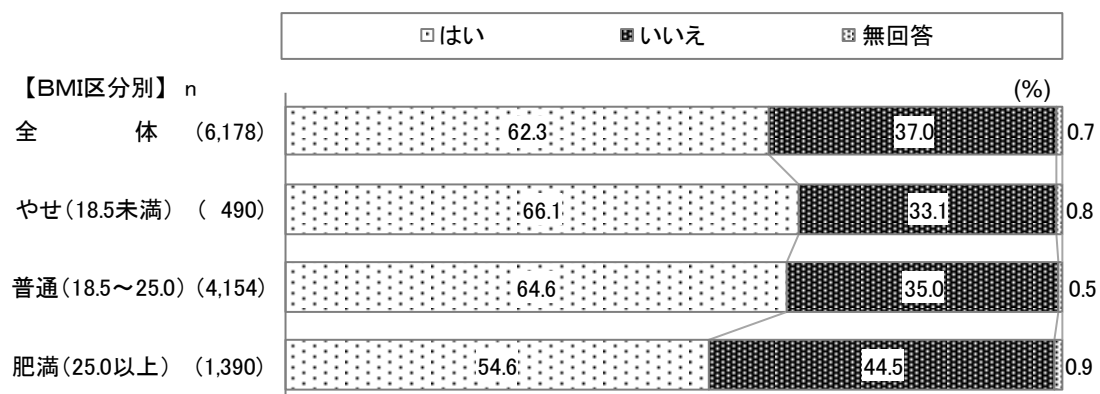


(3) 身体活動・運動

① 1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上、日常動作含む）の実施状況（問17）

BMI区分（問10ア）別にみると、「はい」は「やせ」で66.1%となっており、「普通」（64.6%）、肥満（54.6%）より高くなっている。（図3-1-1）

図3-1-1 1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上、日常動作含む）の実施状況（BMI区分別）

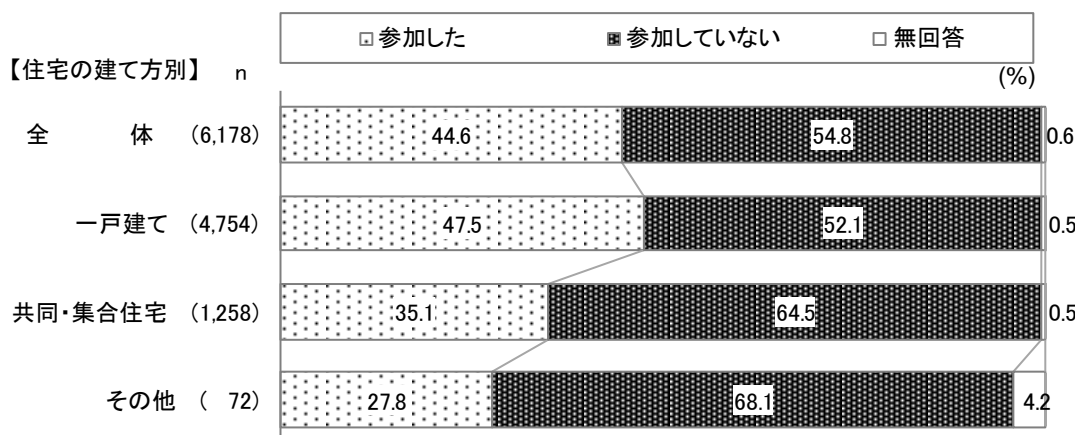


(4) 地域のつながり

① 地域活動への参加状況 (問18)

住宅の建て方別にみると、「参加した」は「一戸建て」で47.5%となっており、「共同・集合住宅」(35.1%)より高くなっている。(図4-1-1)

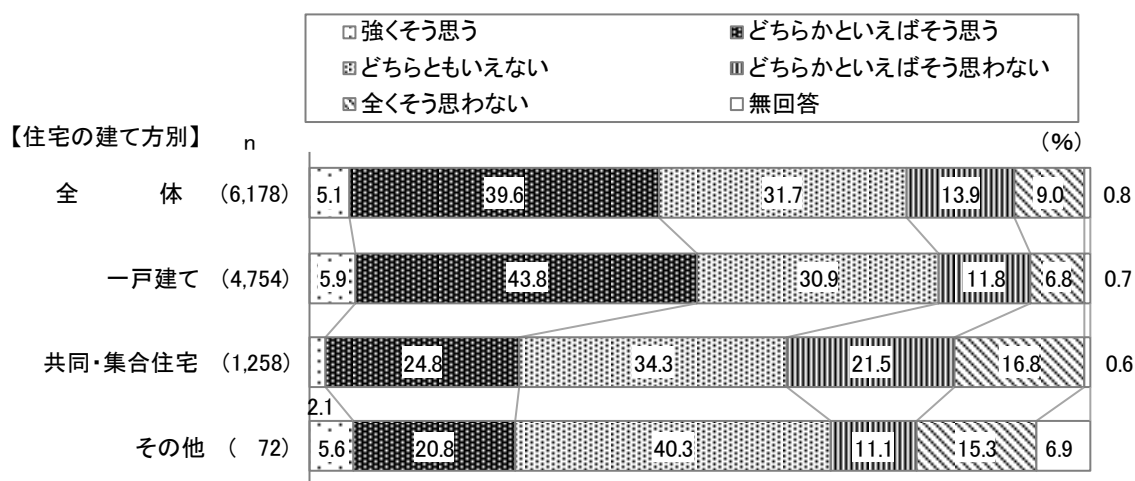
図4-1-1 地域活動への参加状況 (住宅の建て方別)



② 地域における助け合いについての意識 (問19)

住宅の建て方別にみると、「強くそう思う」と「どちらかといえばそう思う」の2つを合わせた《そう思う》は「一戸建て」で49.7%となっており、「共同・集合住宅」(26.9%)より高くなっている。(図4-2-1)

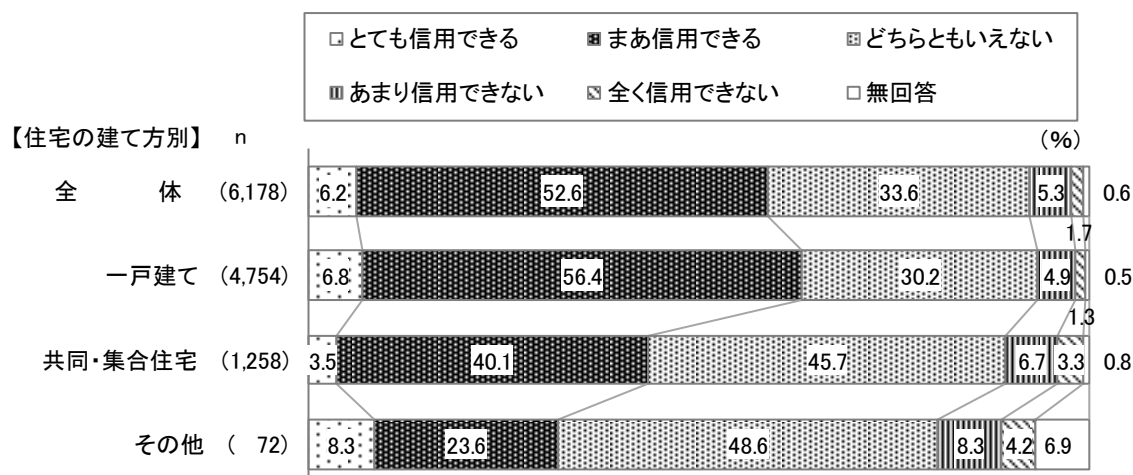
図4-2-1 地域における助け合いについての意識 (住宅の建て方別)



③ 地域の人々に対する信頼感（問20）

住宅の建て方別にみると、「とても信用できる」と「どちらかといえば信用できる」の2つを合わせた《信用できる》は「一戸建て」で63.2%となっており、「共同・集合住宅」(43.6%)より高くなっている。(図4-3-1)

図4-3-1 地域の人々に対する信頼感（住宅の建て方別）

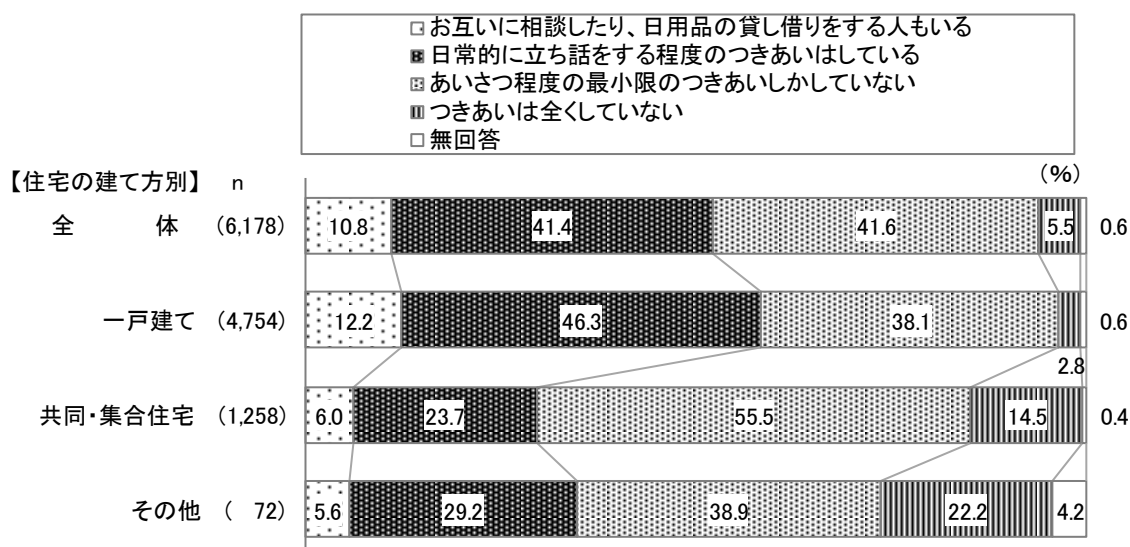


④ 近所とのつきあい（問21）

住宅の建て方別にみると、「お互いに相談したり、日用品の貸し借りをする人もいる」と「日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている」の2つを合わせた《つきあいをしている》は「一戸建て」で58.5%となっており、「共同・集合住宅」(29.7%)より高くなっている。

(図4-4-1)

図4-4-1 近所とのつきあい（住宅の建て方別）



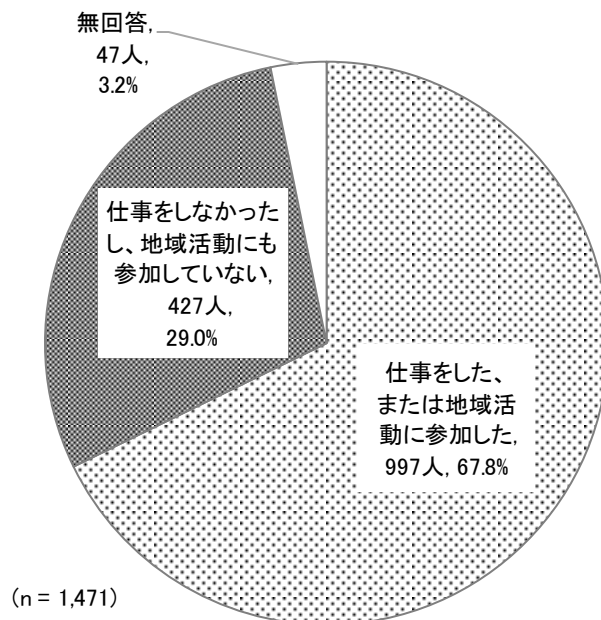
⑤ 60歳以上の方の地域活動への参加状況（問18）と就労状況（問23）

60歳以上の男性のうち、「仕事をした、または地域活動に参加した」人の割合は67.8%、どちらも行っていない人の割合は29.0%となっている。（図4-5-1）

図4-5-1 男性60歳以上の地域活動への参加状況と就労状況

上段：実数、下段：構成比（%）

	男性 60歳 以上 全体	た地域 活動に 参加し	て地域 活動に 参加し	無 回 答
男性60歳以上全	1,471	725	733	13
	100.0	49.3	49.8	0.9
仕事をした	636	345	290	1
	100.0	54.2	45.6	0.2
仕事をしなかった	796	362	427	7
	100.0	45.5	53.6	0.9
無回答	39	18	16	5
	100.0	46.2	41.0	12.8

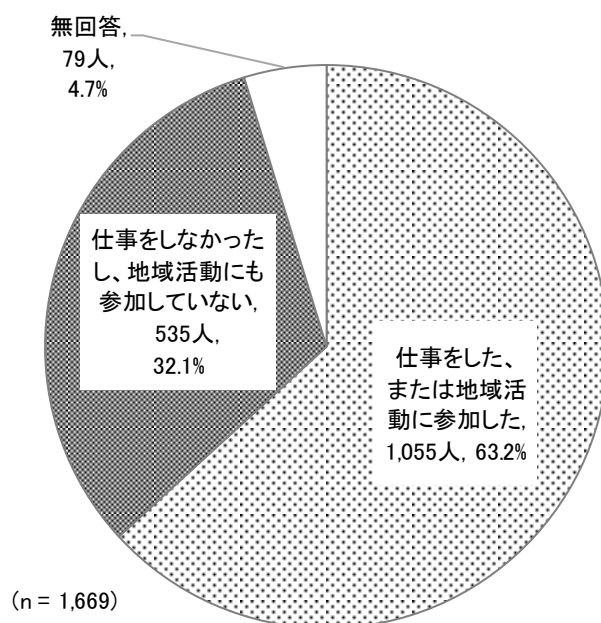


60歳以上の女性のうち、「仕事をした、または地域活動に参加した」人の割合は63.2%、どちらも行っていない人の割合は32.1%となっている。（図4-5-2）

図4-5-2 女性60歳以上の地域活動への参加状況と就労状況

上段：実数、下段：構成比（%）

	女性 60歳 以上 全体	た地域 活動に 参加し	て地域 活動に 参加し	無 回 答
女性60歳以上全	1,669	837	817	15
	100.0	50.1	49.0	0.9
仕事をした	492	242	247	3
	100.0	49.2	50.2	0.6
仕事をしなかった	1,103	566	535	2
	100.0	51.3	48.5	0.2
無回答	74	29	35	10
	100.0	39.2	47.3	13.5

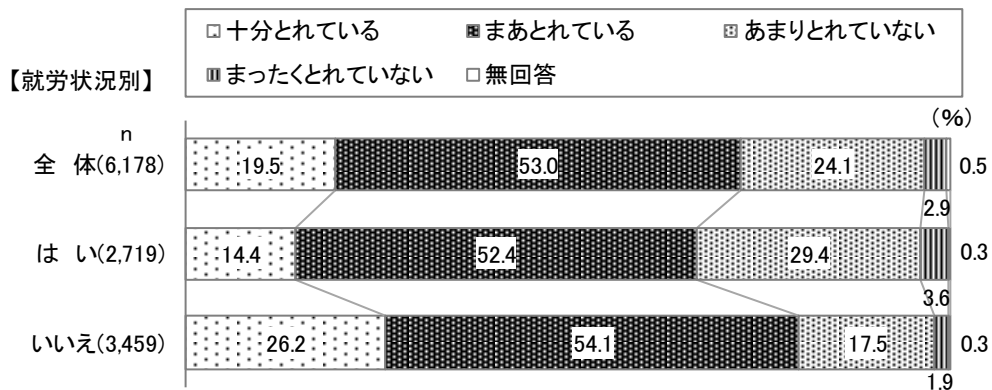


(5) 休養・こころの健康づくり

① 毎日の睡眠で休養が十分とれているか (問22)

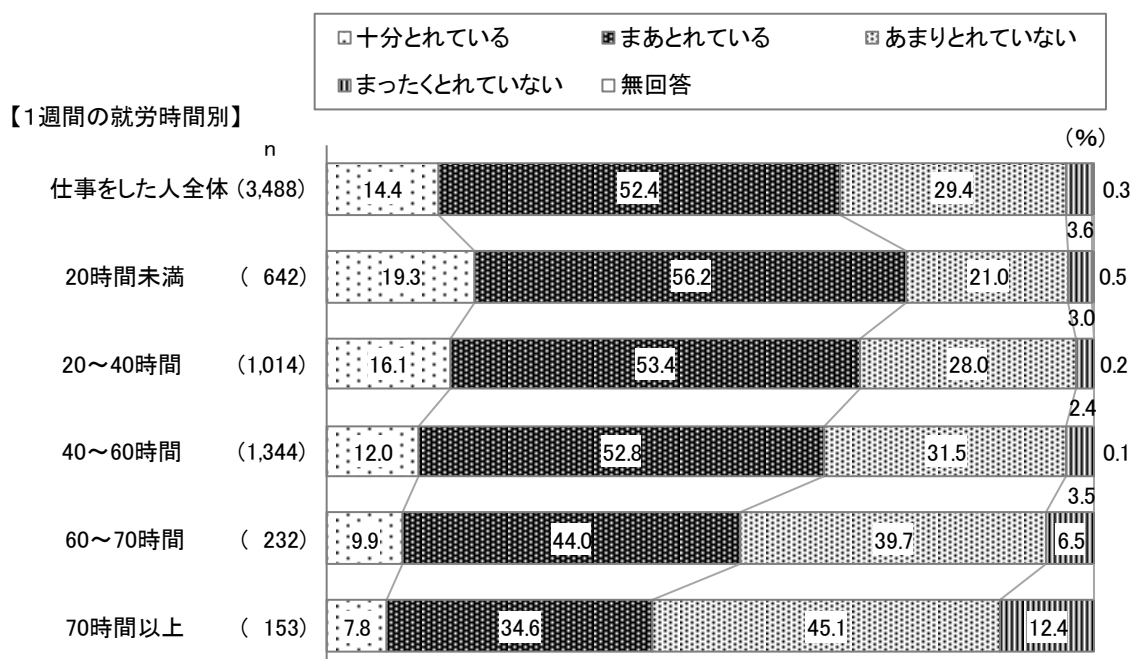
就労状況 (問23) 別にみると、「あまりとれていない」と「全くとれていない」の2つを合わせた《とれていない》は、仕事をした人で33.0%と高くなっている。(図5-1-1)

図5-1-1 毎日の睡眠で休養が十分とれているか (就労状況別)



1週間の就労時間 (問23-1) 別にみると、「あまりとれていない」と「全くとれていない」の2つを合わせた《とれていない》は、70時間以上で57.5%と最も高くなっている。(図5-1-2)

図5-1-2 毎日の睡眠で休養が十分とれているか (1週間の就労時間別)

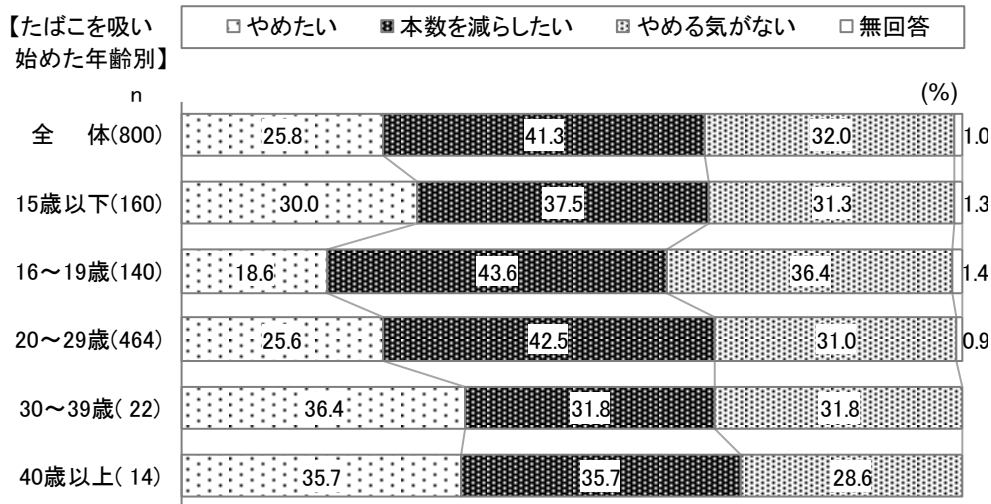


(6) たばこ

① 喫煙に対する考え (問24-3)

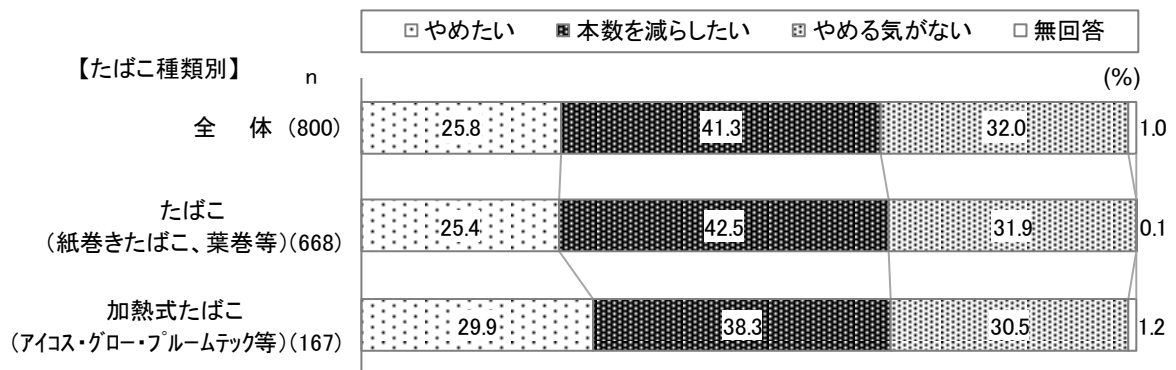
たばこを吸い始めた年齢 (問24-1) 別にみると、「やめたい」は「16~19歳」で18.6%と最も低くなっている。(図6-1-1)

図6-1-1 喫煙に対する考え (たばこを吸い始めた年齢別)



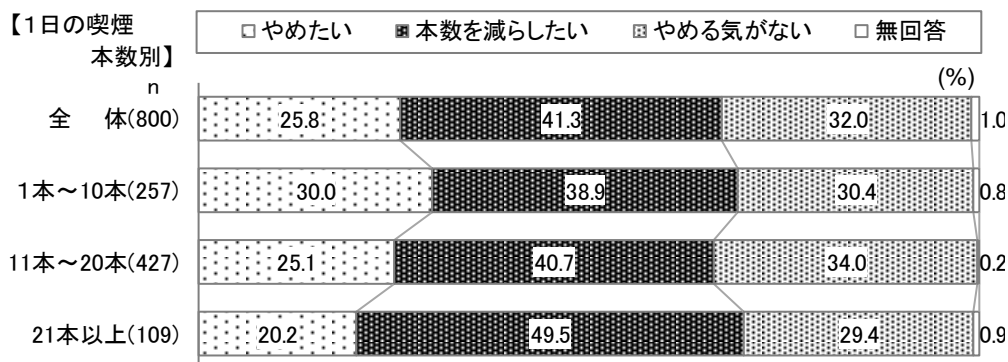
たばこ種類 (問24-2) 別にみると、「やめたい」は「加熱式たばこ」の喫煙層で高くなっている。(図6-1-2)

図6-1-2 喫煙に対する考え (たばこ種類別)



1日の喫煙本数（問24-4）別にみると、「やめたい」は喫煙本数が少ない人ほど高くなっている。「本数を減らしたい」は21本以上で49.5%となっている。（図6-1-3）

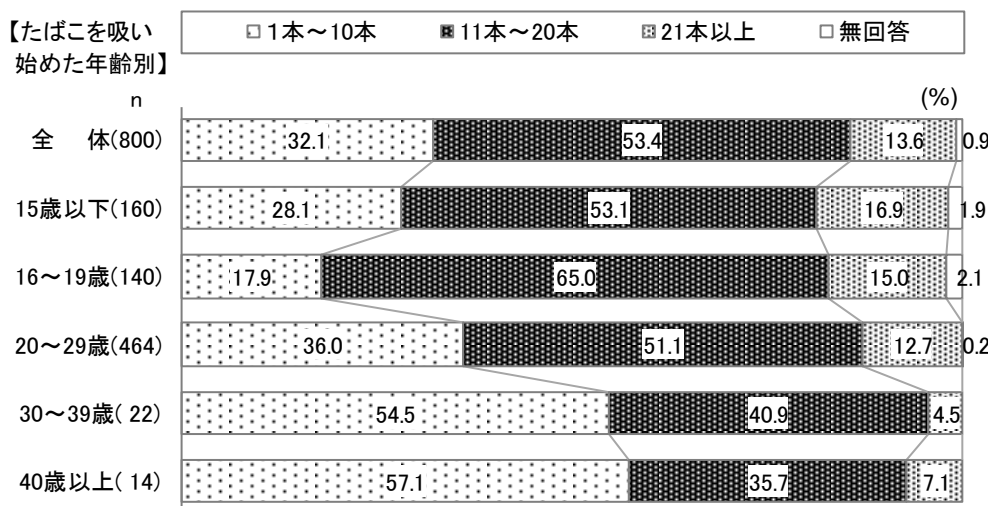
図6-1-3 喫煙に対する考え（1日の喫煙本数別）



② 1日の喫煙本数（問24-4）

たばこを吸い始めた年齢（問24-1）別にみると、若年ほど「21本以上」の回答が高くなる傾向が見られる。（図6-2-1）

図6-2-1 1日の喫煙本数（たばこを吸い始めた年齢別）



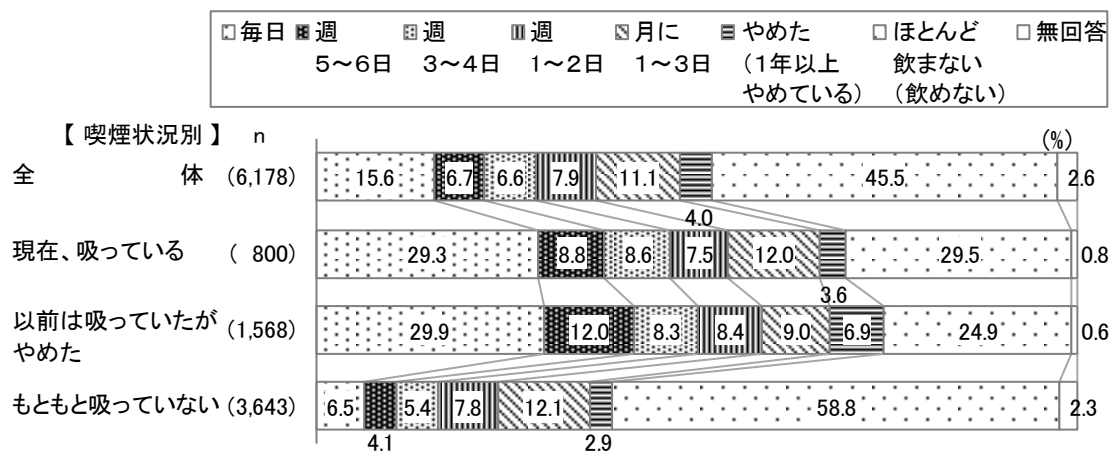
(7) お酒（アルコール）

① 飲酒状況（問 25）

喫煙状況（問24）別にみると、「ほとんど飲まない（飲めない）」と「やめた（1年以上やめている）」の2つを合わせた《飲まない》は、もともと吸っていない人で61.7%と高くなっている。「毎日」は現在吸っている人で29.3%、以前は吸っていたがやめた人で29.9%と高くなっている。

（図7-1-1）

図7-1-1 飲酒状況（喫煙状況別）



② 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合※（問 25、問 25-1）

男性で飲酒する人（無回答者を除く1,774人）のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の合計は351人（19.8%）となっている。（表7-2-1）

表7-2-1 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合（男性）

上段：実数、下段：構成比（%）

		男性で飲酒する人全体	1合	未1合	未2合	未3合	未4合	5合	無回答
			(180ml)未満	以上2合(360ml)	以上3合(540ml)	以上4合(720ml)	以上5合(900ml)	以上	
（男性）	男性で飲酒する人全体	1,784	589	651	350	110	39	35	10
		100.0	33.0	36.5	19.6	6.2	2.2	2.0	0.6
	毎日	741	191	294	171	64	10	10	1
		100.0	25.8	39.7	23.1	8.6	1.3	1.3	0.1
	週5～6日	269	91	114	49	7	3	4	1
		100.0	33.8	42.4	18.2	2.6	1.1	1.5	0.4
週3～4日	231	84	86	46	7	5	3	0	
	100.0	36.4	37.2	19.9	3.0	2.2	1.3	0.0	
週1～2日	256	98	75	45	16	12	8	2	
	100.0	38.3	29.3	17.6	6.3	4.7	3.1	0.8	
月に1～3日	287	125	82	39	16	9	10	6	
	100.0	43.6	28.6	13.6	5.6	3.1	3.5	2.1	

女性で飲酒する人（無回答者を除く1,153人）のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の合計は302人（26.2%）となっている。（表7-2-2）

表7-2-2 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合（女性）

上段：実数、下段：構成比（%）

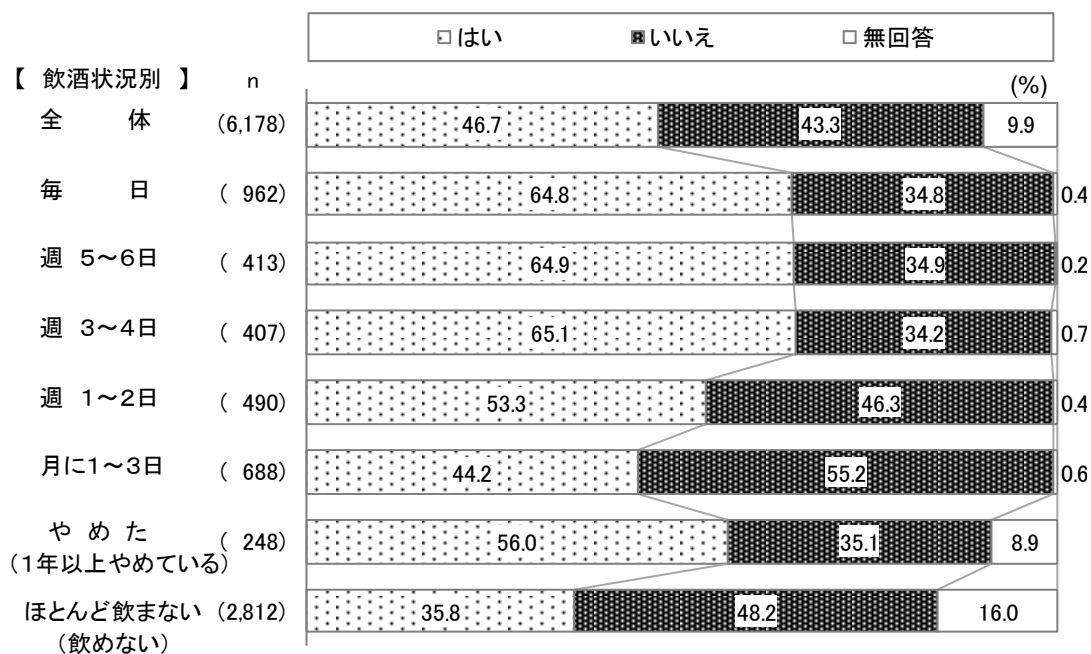
		女性で飲酒する人全体	1合	未1合	未2合	未3合	未4合	5合	無回答
			(180ml)未満	以上2合(360ml)	以上3合(540ml)	以上4合(720ml)	以上5合(900ml)	以上	
（女性）	女性で飲酒する人全体	1,176	623	313	123	64	15	15	23
		100.0	53.0	26.6	10.5	5.4	1.3	1.3	2.0
	毎日	221	76	77	38	17	4	5	4
		100.0	34.4	34.8	17.2	7.7	1.8	2.3	1.8
	週5～6日	144	69	45	16	10	1	1	2
		100.0	47.9	31.3	11.1	6.9	0.7	0.7	1.4
週3～4日	176	102	43	16	9	4	0	2	
	100.0	58.0	24.4	9.1	5.1	2.3	0.0	1.1	
週1～2日	234	148	53	19	5	2	3	4	
	100.0	63.2	22.6	8.1	2.1	0.9	1.3	1.7	
月に1～3日	401	228	95	34	23	4	6	11	
	100.0	56.9	23.7	8.5	5.7	1.0	1.5	2.7	

※生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人…1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上
 男性：「週5日以上×2合以上」＋「週3～4日×3合以上」＋「週1～2日×5合以上」＋「月1～3日×5合以上」
 女性：「週3日以上×1合以上」＋「週1～2日×3合以上」＋「月1～3日×5合以上」

③ 「節度ある適度な飲酒」(1日平均清酒1合)の認知度(問26)

飲酒状況(問25)別にみると、「はい」は毎日飲酒する人で64.8%、週5～6日飲酒する人で64.9%、週3～4日飲酒する人で65.1%と高くなっている。(図7-3-1)

図7-3-1 「節度ある適度な飲酒」(1日平均清酒1合)の認知度(飲酒状況別)



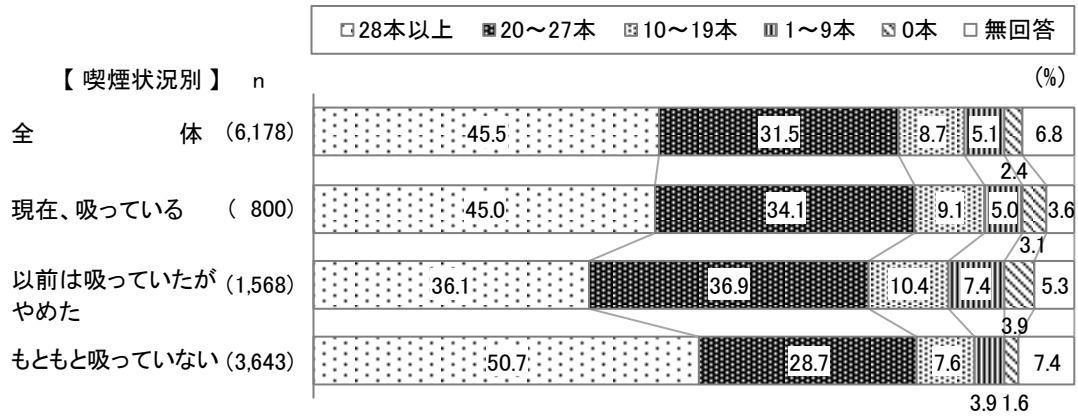
(8) 歯

① 歯の本数 (問 27)

喫煙状況 (問24) 別にみると、「28本以上」はもともと吸っていない人で50.7%となっており、現在吸っている人、以前は吸っていたがやめた人に比べて割合が高くなっている。

(図 8 - 1 - 1)

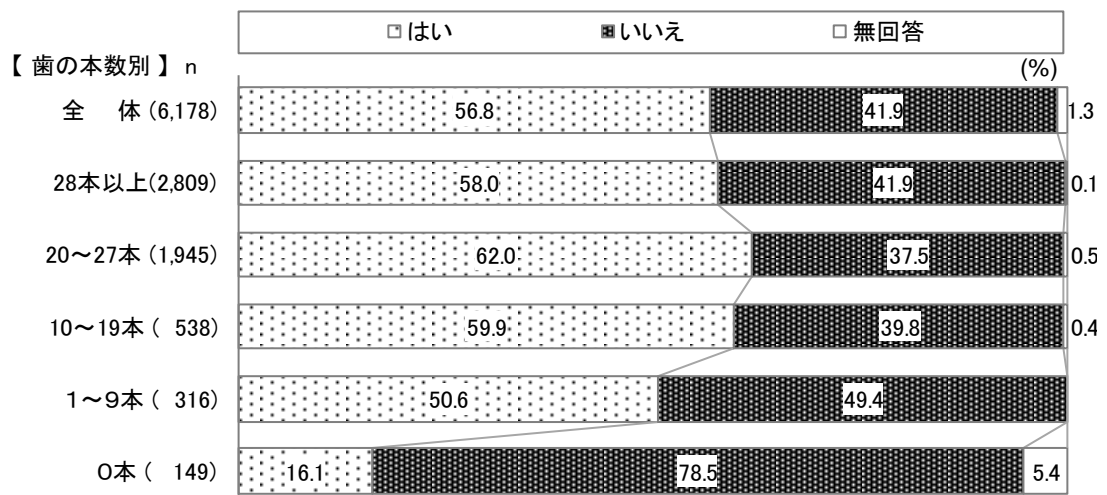
図 8 - 1 - 1 歯の本数 (喫煙状況別)



② 最近1年間の歯の健康診査の受診状況 (問 28)

歯の本数 (問27) 別にみると、「はい」は20~27本ある人で62.0%と高くなっている。「いいえ」は0本の人で78.5%と高くなっている。(図 8 - 2 - 1)

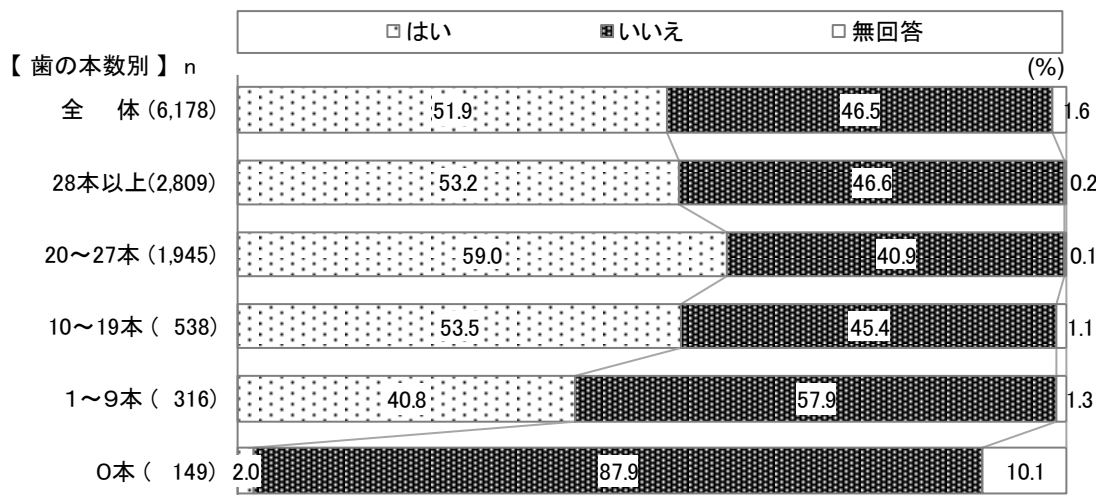
図 8 - 2 - 1 最近1年間の歯の健康診査の受診状況 (歯の本数別)



③ 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況（問29）

歯の本数（問27）別にみると、「はい」は20～27本ある人で59.0%と高くなっている。「いいえ」は1～9本の人で57.9%と高くなっている。（図8-3-1）

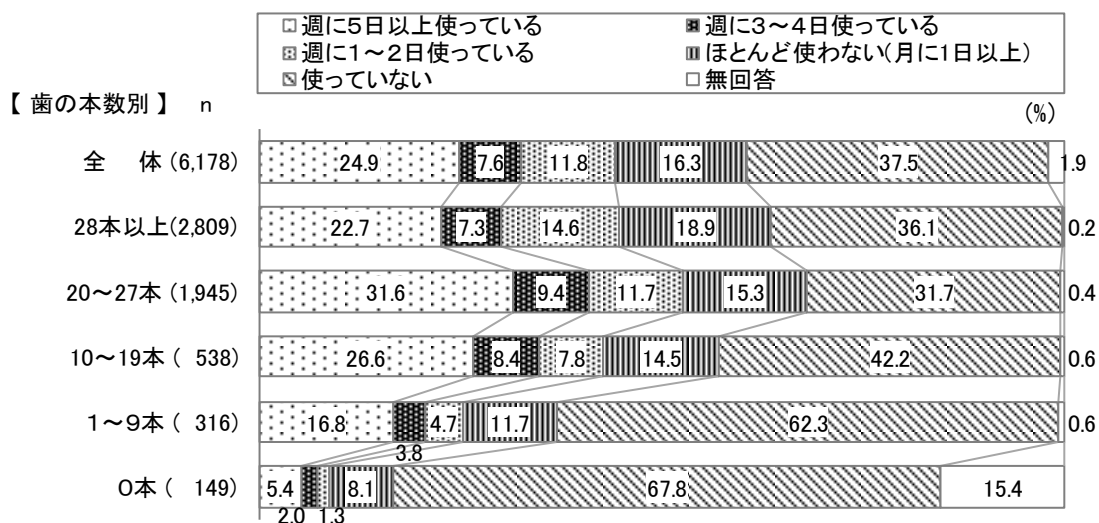
図8-3-1 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況（歯の本数別）



④ 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（問30）

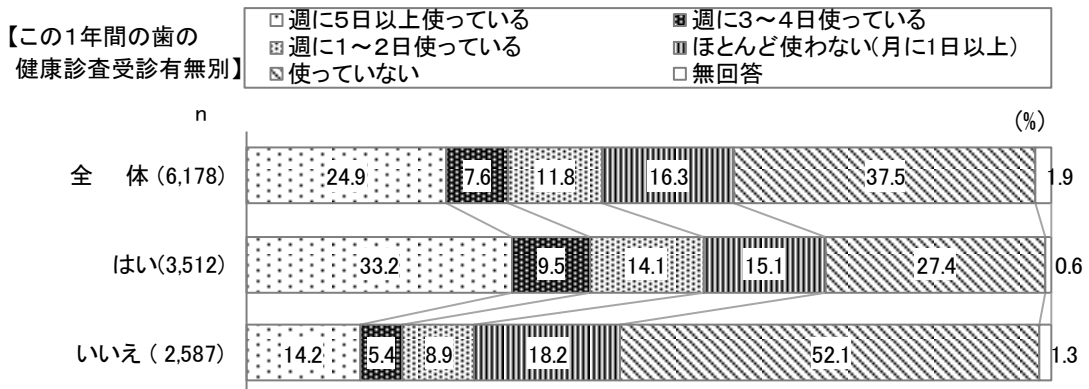
歯の本数（問27）別にみると、「週に5日以上使っている」は、20～27本ある人で31.6%と高くなっている。（図8-4-1）

図8-4-1 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（歯の本数別）



この1年間の歯の健康診査受診有無別（問28）別にみると、「週に5日以上使っている」は、歯の健康診査を受診した人で33.2%と高くなっている。（図8-4-2）

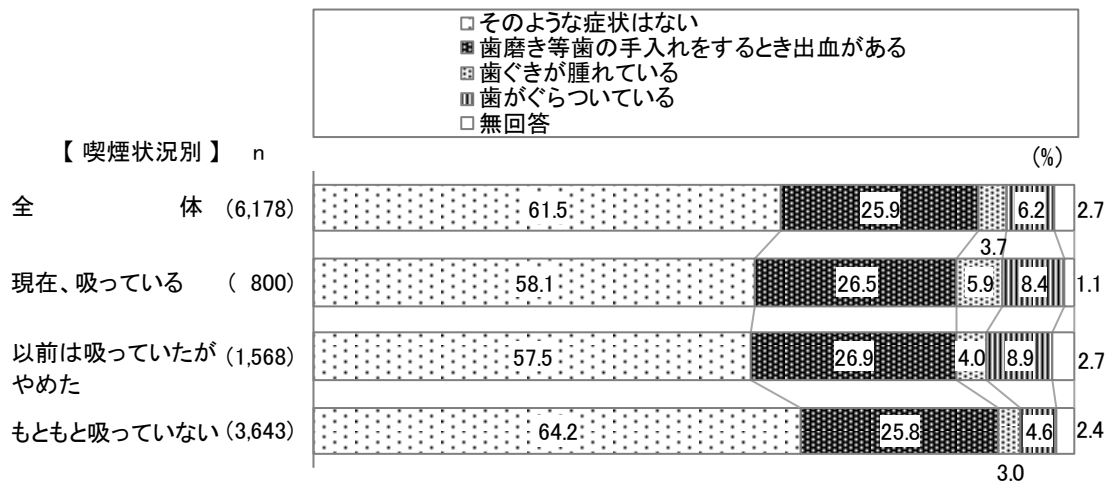
図8-4-2 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度
（この1年間の歯の健康診査受診有無別）



⑤ 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況（問31）

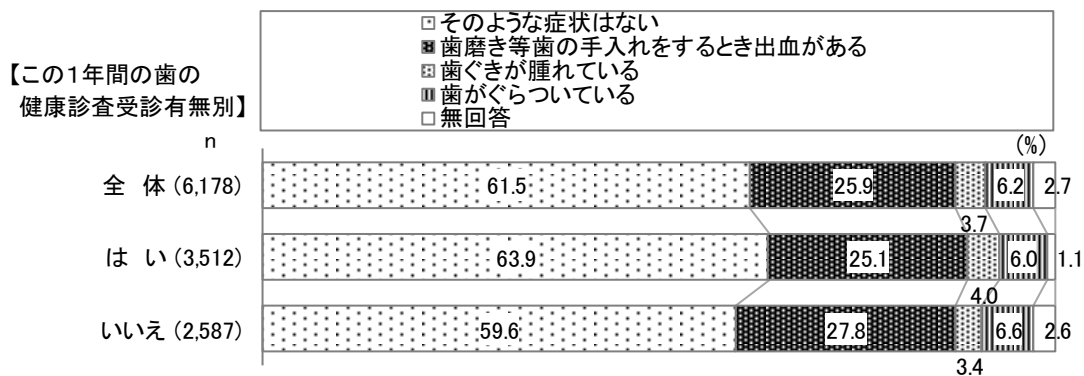
喫煙状況別（問24）別にみると、「そのような症状はない」はたばこをもともと吸っていない人で64.2%と高くなっている。（図8-5-1）

図8-5-1 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況（喫煙状況別）



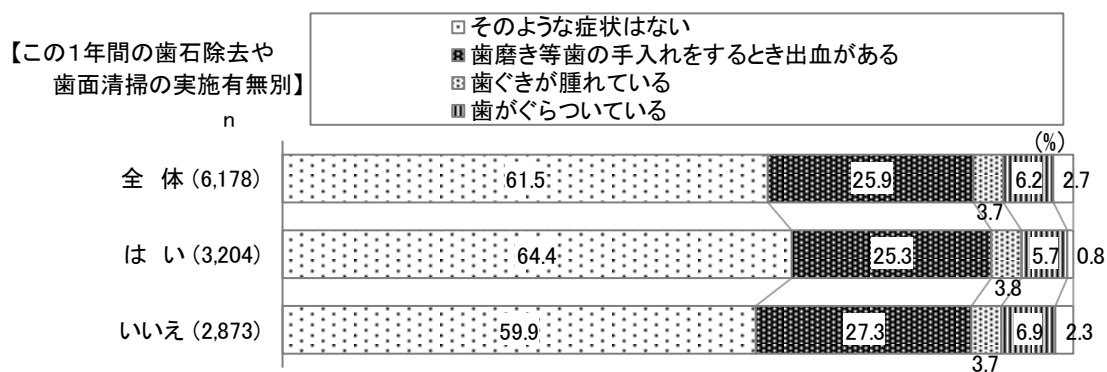
この1年間の歯の健康診査受診有無（問28）別にみると、「そのような症状はない」は歯の健康診査を受診した人で63.9%と高くなっている。（図8-5-2）

図8-5-2 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況
（この1年間の歯の健康診査受診有無別）



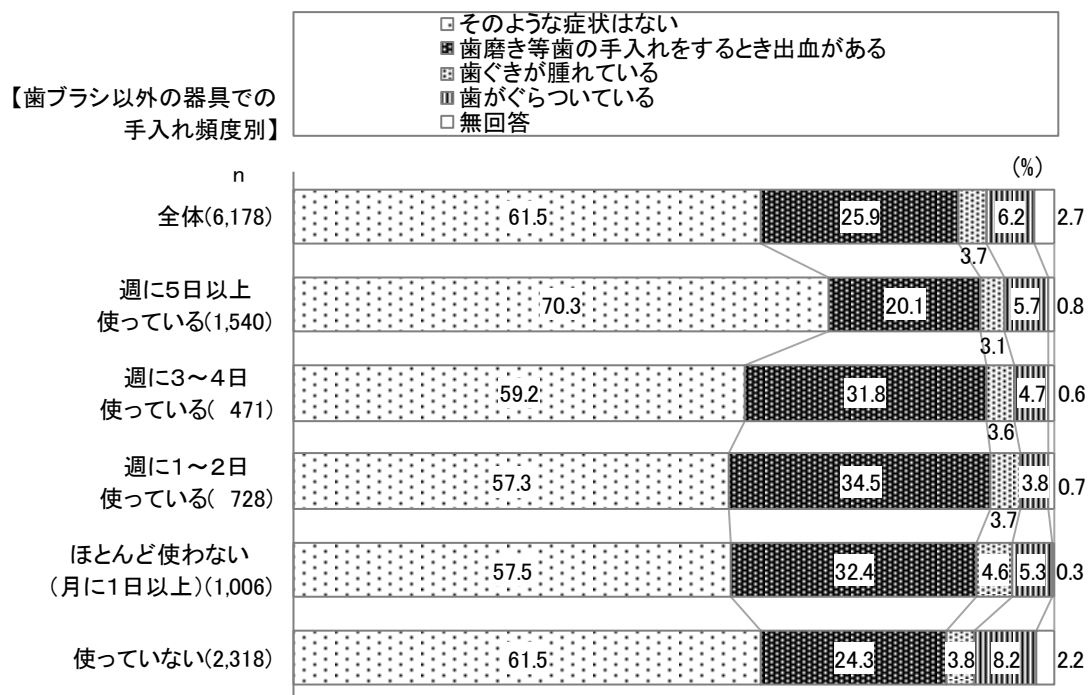
この1年間の歯石除去や歯面清掃の実施有無（問29）別にみると、「そのような症状はない」は歯石除去や歯面清掃を受けている人で64.4%と高くなっている。（図8-5-3）

図8-5-3 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況
（この1年間の歯石除去や歯面清掃の実施有無別）



歯ブラシ以外の器具での手入れ頻度（問30）別にみると、「そのような症状はない」は、週に5日以上使っている人で70.3%と高くなっている。（図8-5-4）

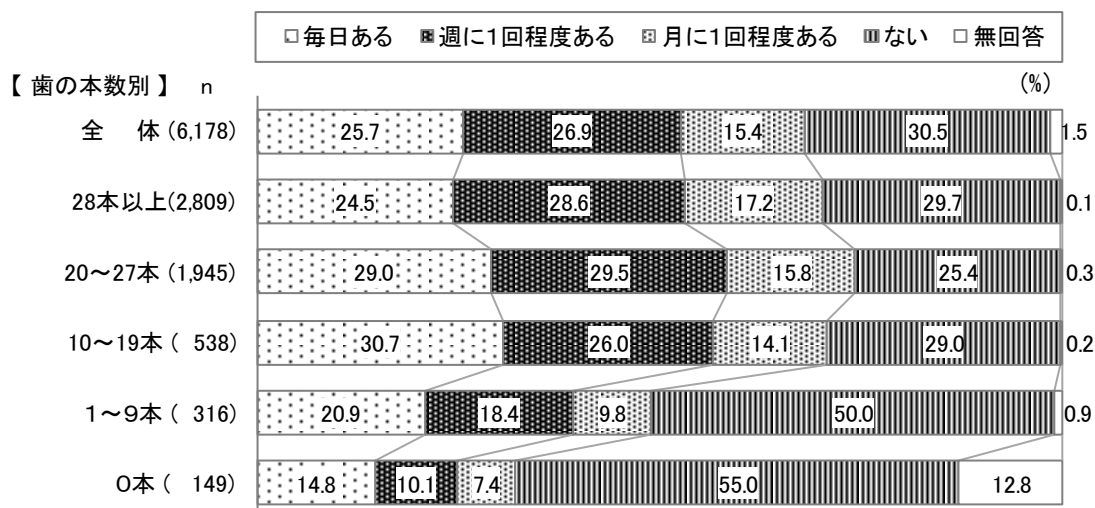
図8-5-4 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況
（歯ブラシ以外の器具での手入れ頻度別）



⑥ 口の中を観察する習慣（問 32）

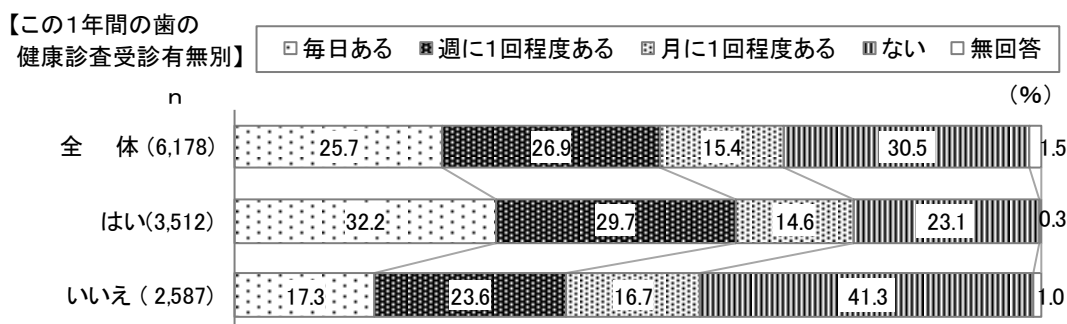
歯の本数（問27）別にみると、「毎日ある」は10～19本の人で30.7%、20～27本の人で29.0%と高くなっている。（図8-6-1）

図8-6-1 口の中を観察する習慣（歯の本数別）



この1年間の歯の健康診査受診有無（問28）別にみると、「毎日ある」は歯の健康診査を受診した人で32.2%と高くなっている。（図8-6-2）

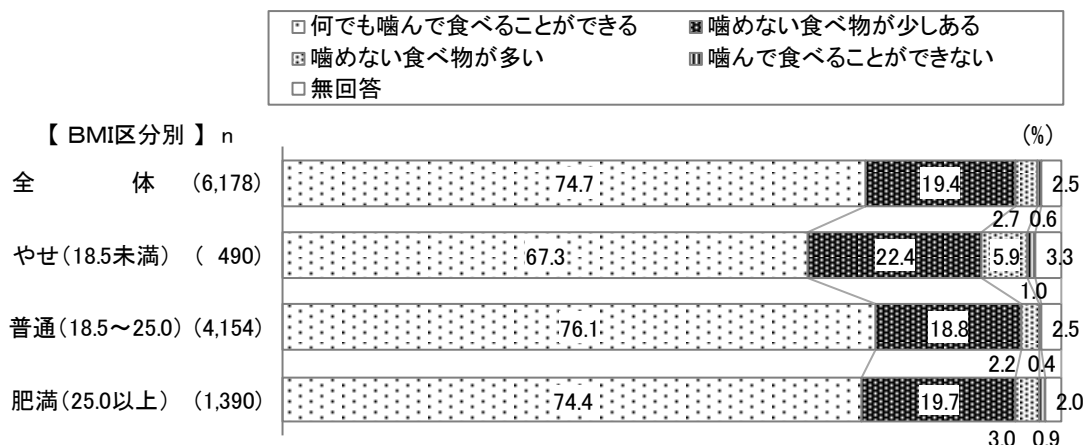
図8-6-2 口の中を観察する習慣（この1年間の歯の健康診査受診有無別）



⑦ ものをかんで食べることができるか (問 33)

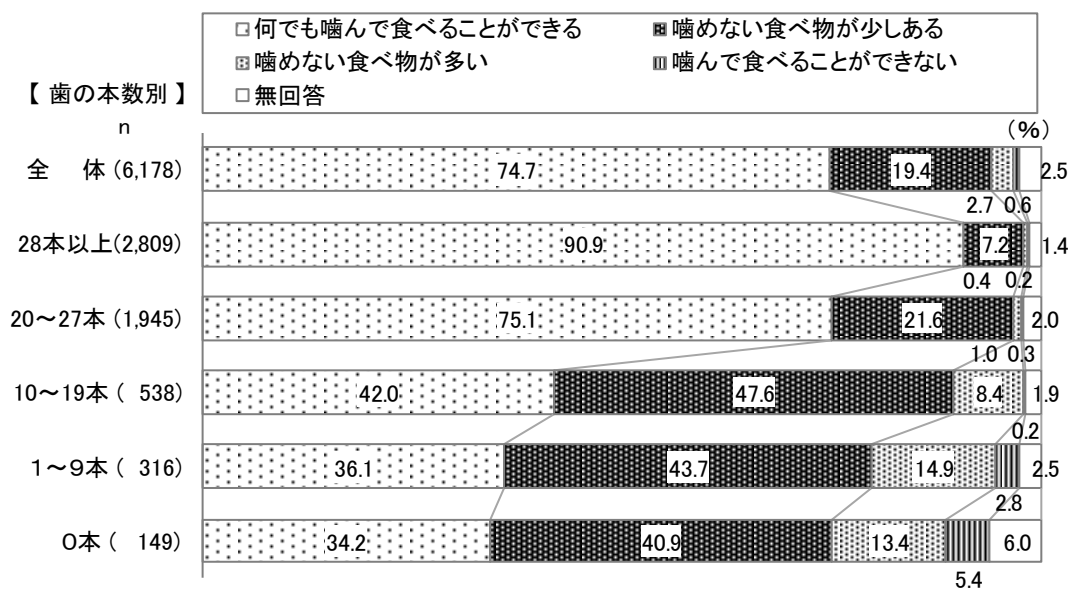
BMI 区分 (問10ア) 別にみると「何でも噛んで食べることができる」は、「やせ」で67.3%と「普通」(76.1%)、「肥満」(74.4%) よりも低くなっている。(図8-7-1)

図8-7-1 ものをかんで食べることができるか (BMI 区分別)



歯の本数 (問27) 別にみると、「何でも噛んで食べることができる」は、歯の本数が多い人ほど高く、28本以上の人で90.9%となっている。(図8-7-2)

図8-7-2 ものをかんで食べることができるか (歯の本数別)

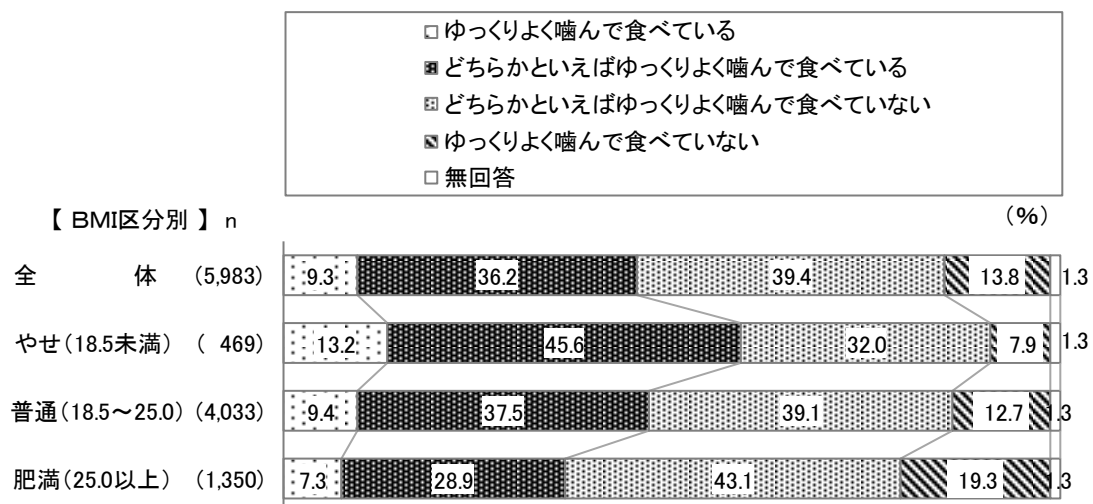


⑧ ふだんゆっくりよく噛んで食べているか（問33-1）

BMI区分（問10ア）別にみると「ゆっくりよく噛んで食べている」「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」は、BMI区分による肥満度の低い人ほど割合が高くなっている。

（図8-8-1）

図8-8-1 ふだんゆっくりよく噛んで食べているか（BMI区分別）

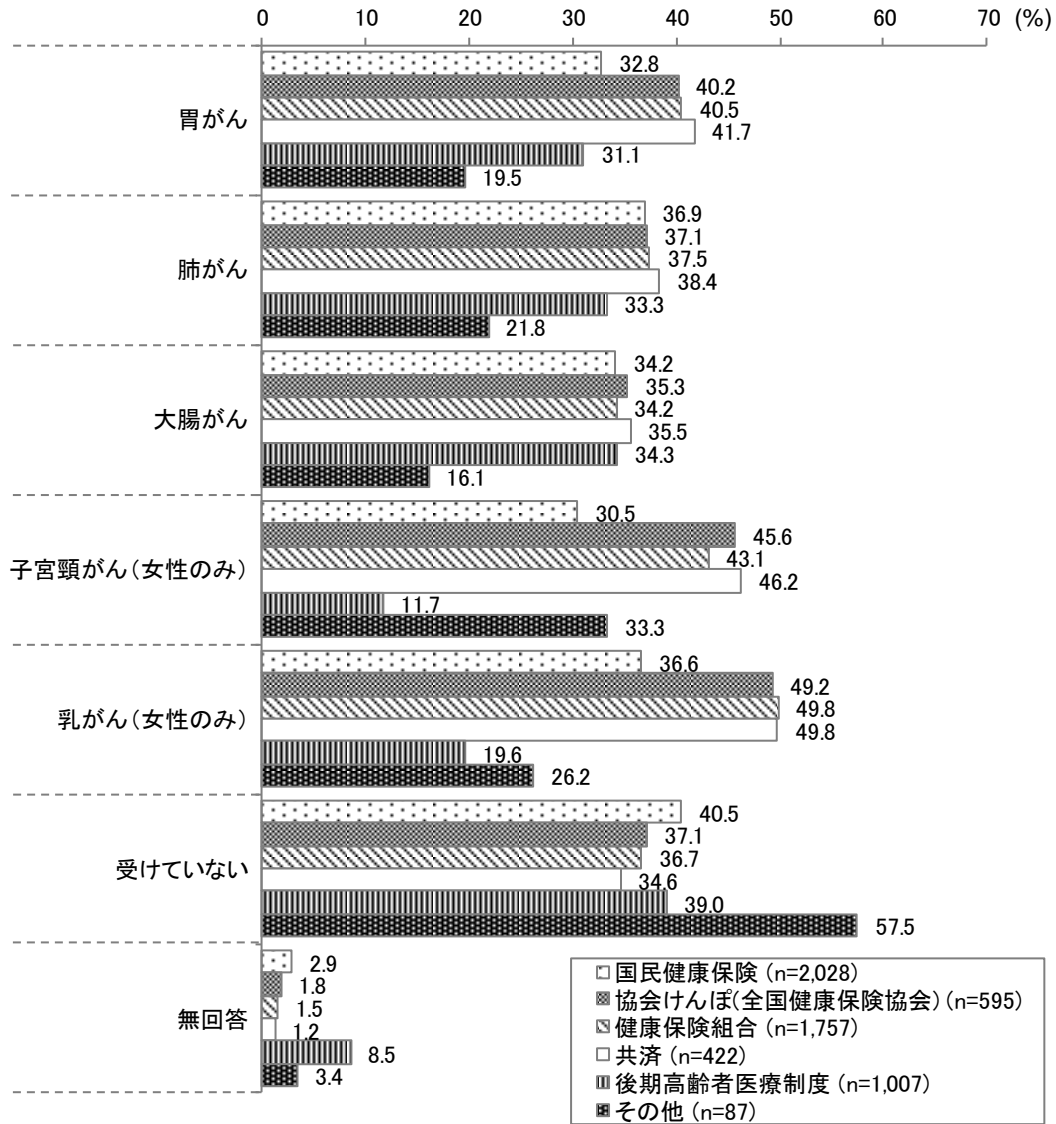


(9) がん検診

① 最近1年間のがん検診の受診状況 (問34)

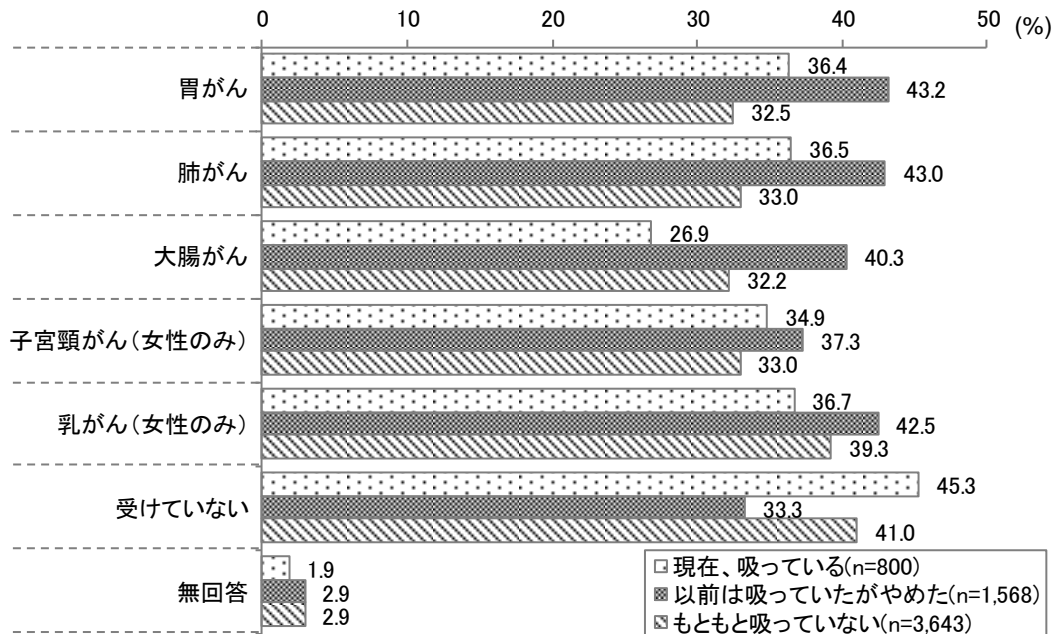
健康保険種別にみると「胃がん」「子宮頸がん」「乳がん」は、協会けんぽ、健康保険組合、共済で割合が高く、国民健康保険、後期高齢者医療制度で割合が低くなっている。(図9-1-1)

図9-1-1 最近1年間のがん検診の受診状況 (健康保険種別)



喫煙状況（問24）別にみると、「胃がん」「肺がん」「大腸がん」では以前吸っていたがやめた人で割合が高くなっている。（図9-1-2）

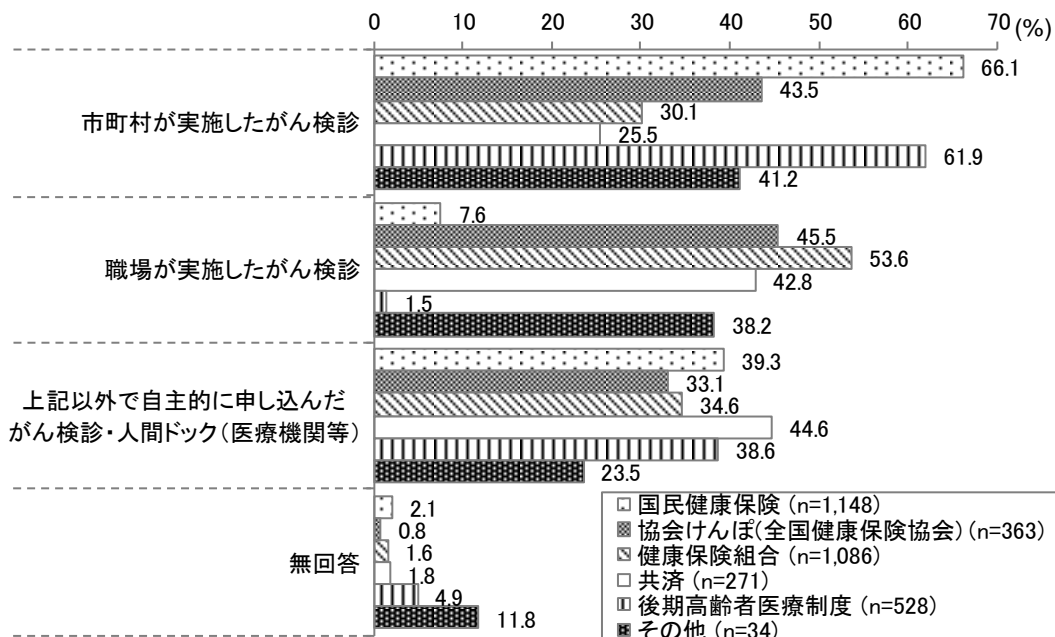
図9-1-2 最近1年間のがん検診の受診状況（喫煙状況別）



② がん検診の受診場所（問34-1）

健康保険種別にみると、「市町村が実施したがん検診」は国民健康保険で66.1%、後期高齢者医療制度で61.9%と高くなっている。「職場が実施したがん検診」は健康保険組合で53.6%と高くなっている。「自主的に申し込んだがん検診・人間ドック（医療機関等）」は共済で44.6%と高くなっている。（図9-2-1）

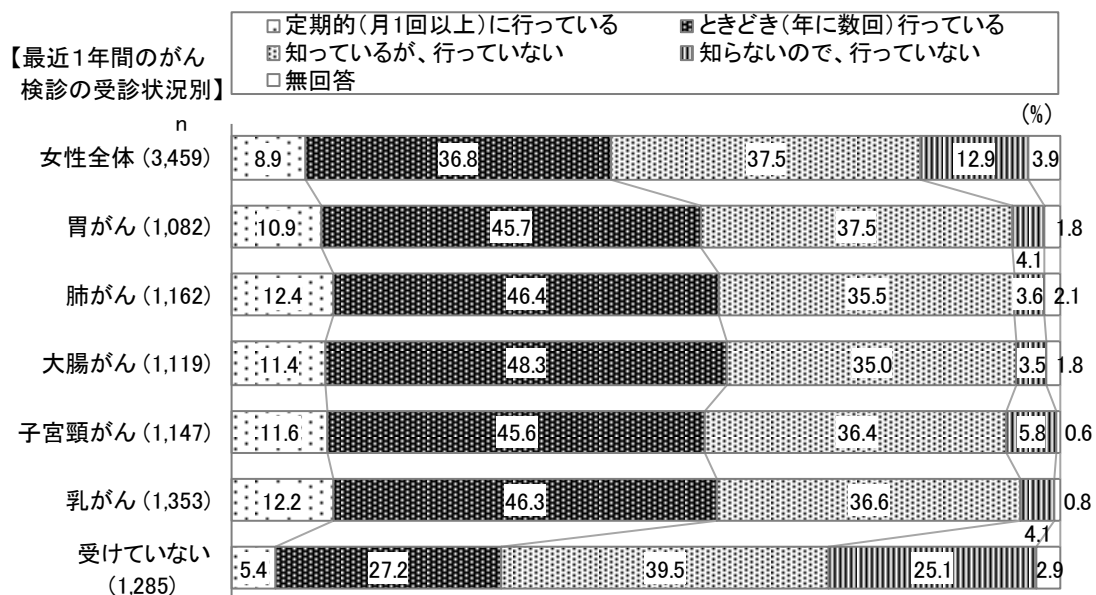
図9-2-1 がん検診の受診場所（健康保険種別）



③ 女性の乳がんの自己触診の実施状況（問 35）

最近1年間のがん検診の受診状況（問34）別にみると、「知らないので、行ってない」はがん検診を受けていない人で25.1%となっており、乳がん検診を受けている人（4.1%）より21.0ポイント高くなっている。（図9-3-1）

図9-3-1 女性の乳がんの自己触診の実施状況（最近1年間のがん検診の受診状況別）

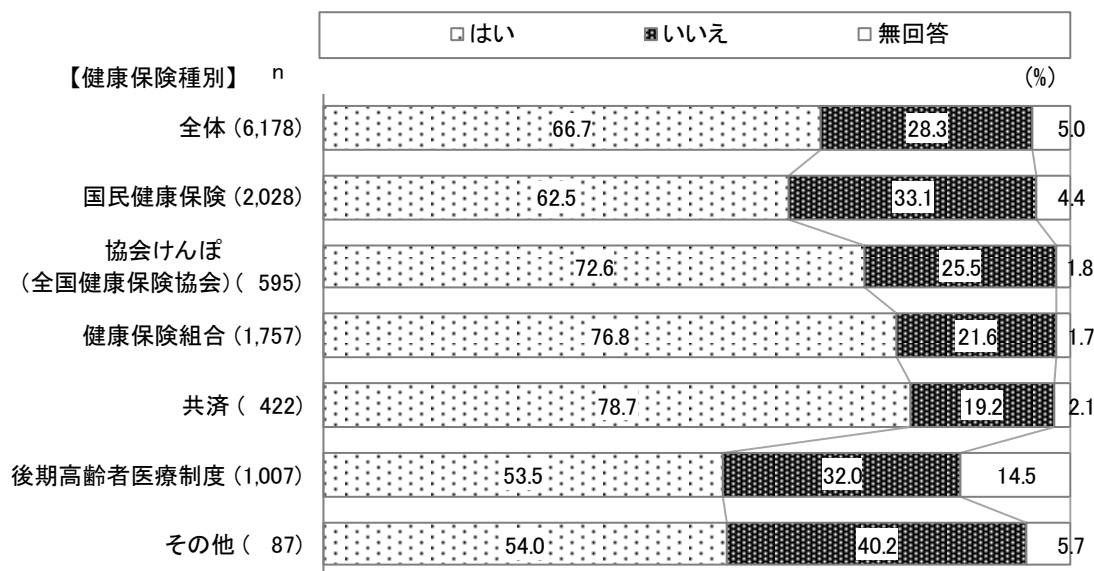


(10) 健康診断

① 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（問36）

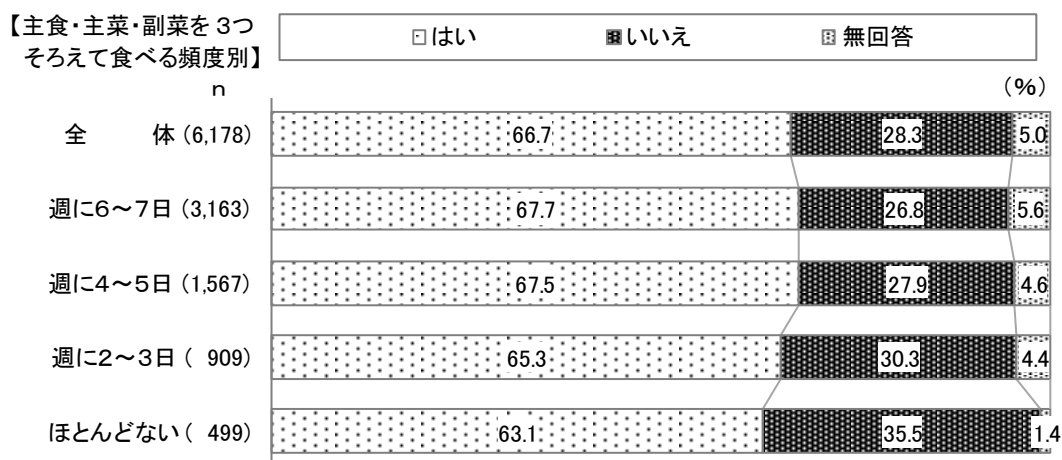
健康保険種別にみると、「はい」は健康保険組合で76.8%、共済で78.7%と高くなっている。「いいえ」は国民健康保険で33.1%、後期高齢者医療制度で32.0%と高くなっている。（図10-1-1）

図10-1-1 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（健康保険種別）



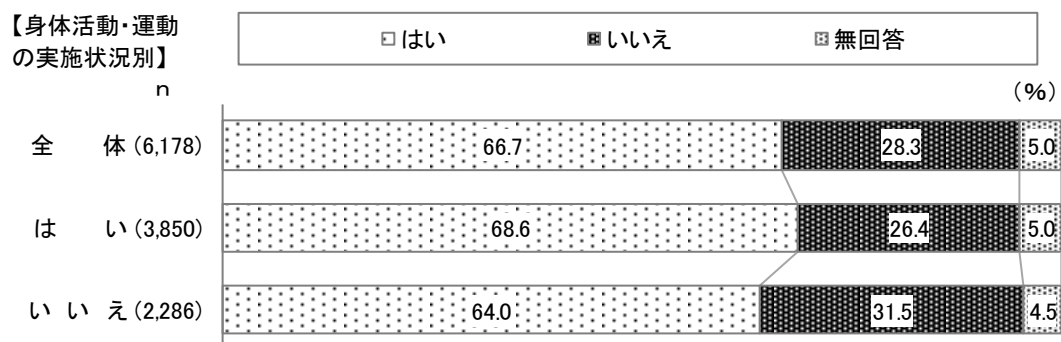
主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（問14）別にみると、頻度が高くなるほど「はい」の割合も高くなる傾向が見られる。（図10-1-2）

図10-1-2 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度別）



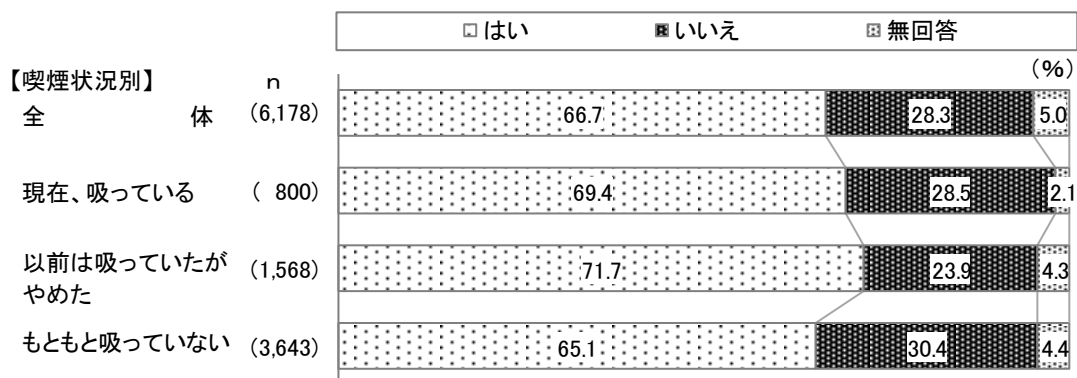
身体活動・運動の実施状況（問17）別にみると、1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上、日常動作含む）を実施している人は、「はい」が68.6%と、実施していない人（64.0%）に比べ高くなっている。（図10-1-3）

図10-1-3 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（身体活動・運動の実施状況別）



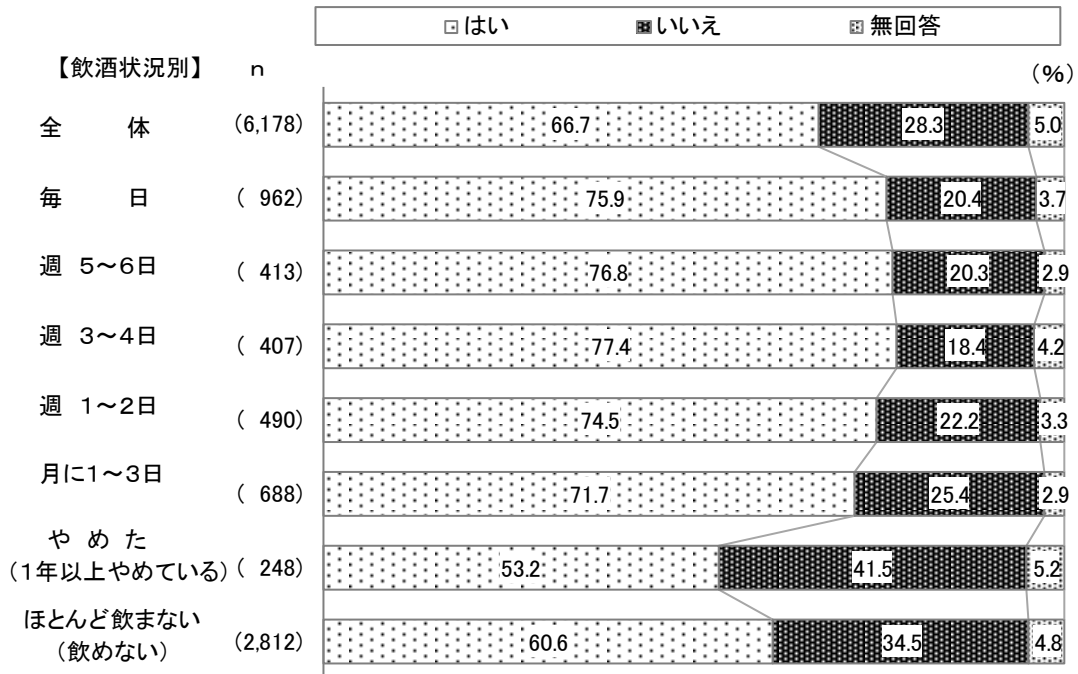
喫煙状況（問24）別にみると、「はい」の割合が、現在吸っている人（69.4%）、以前は吸っていたがやめた人（71.7%）のほうが、もともと吸っていない人（65.1%）よりも高くなっている。（図10-1-4）

図10-1-4 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（喫煙状況別）



飲酒状況別（問25）別にみると、「いいえ」は、飲酒をやめた人で41.5%、ほとんど飲まない人で34.5%となっており、飲酒している人に比べて割合が高くなっている。（図10-1-5）

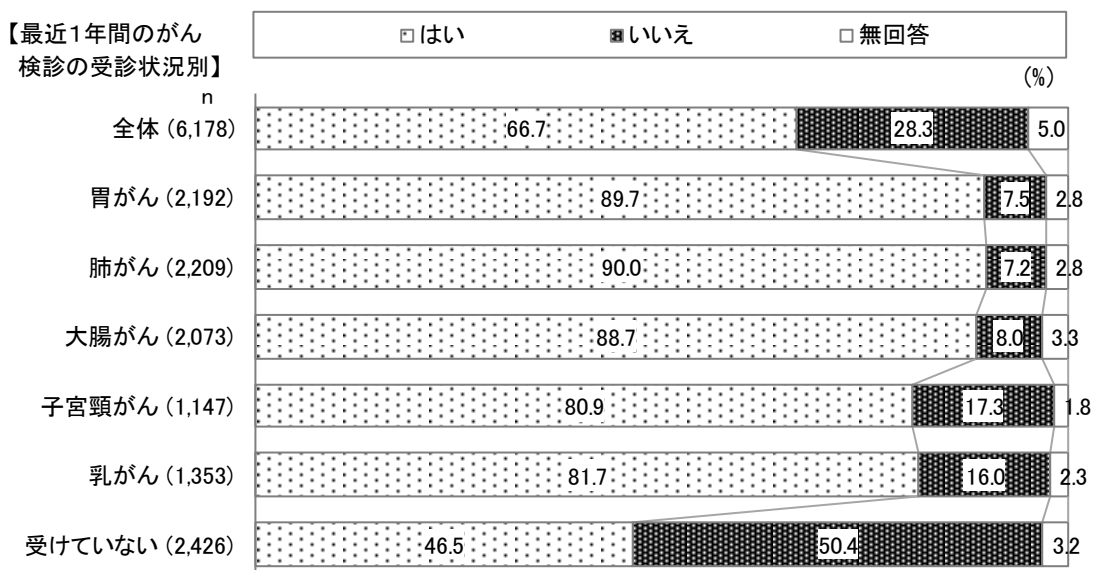
図10-1-5 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（飲酒状況別）



最近1年間のがん検診受診状況（問34）別にみると、「いいえ」はがん検診を受けていない人で50.4%となっており、各種のがん検診を受けている人に比べて割合が高くなっている。

（図10-1-6）

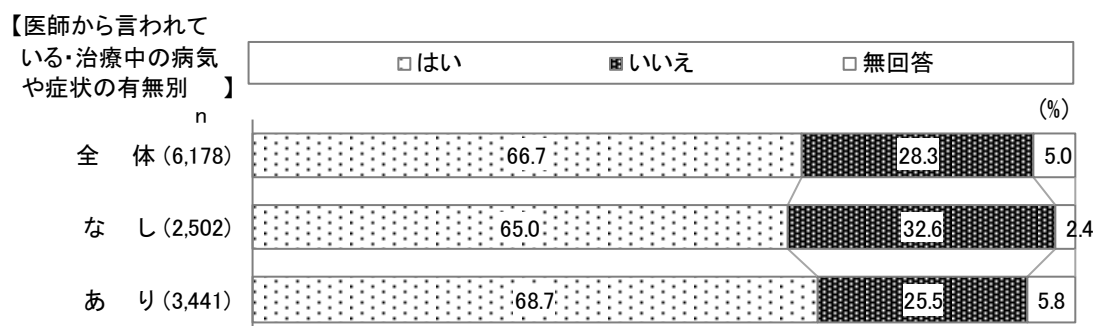
図10-1-6 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（最近1年間のがん検診受診状況別）



医師から言われている・治療中の病気や症状の有無（問38）別にみると、「はい」は病気や症状がある人で68.7%となっており、病気や症状がない人（65.0%）より3.7ポイント高くなっている。

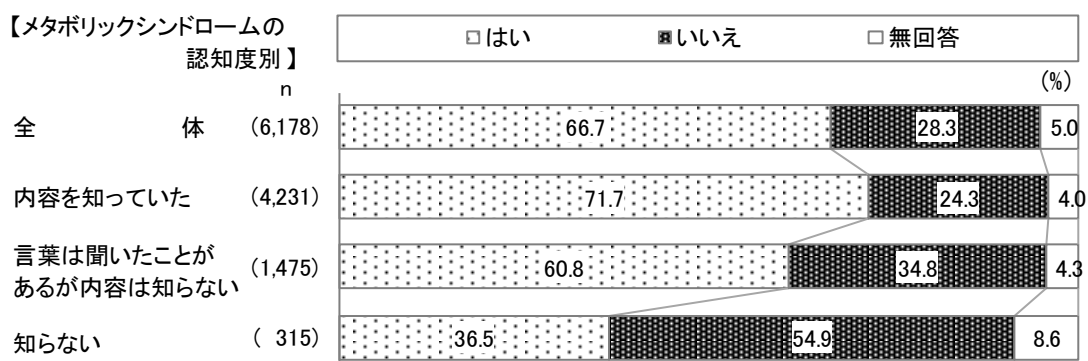
（図10-1-7）

図10-1-7 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況
（医師から言われている・治療中の病気や症状の有無別）



メタボリックシンドロームの認知度（問39）別にみると、「はい」は内容を知っていた人で71.7%、言葉は聞いたことがあるが内容は知らない人で60.8%となっており、知らない人（36.5%）に比べ高くなっている。（図10-1-8）

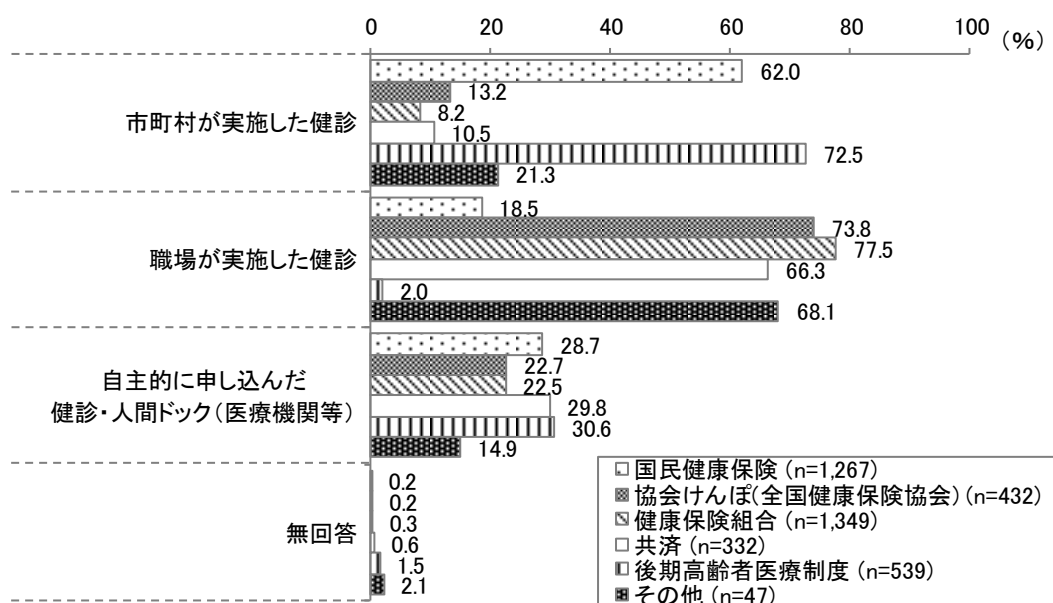
図10-1-8 過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（メタボリックシンドロームの認知度別）



② 健診や人間ドックの受診場所（問 36-1）

健康保険種別によると、「市町村が実施した健診」は後期高齢者医療制度で72.5%、国民健康保険で62.0%と高くなっている。「職場が実施した健診」は健康保険組合で77.5%、協会けんぽで73.8%と高くなっている。（図10-2-1）

図10-2-1 健診や人間ドックの受診場所（健康保険種別）

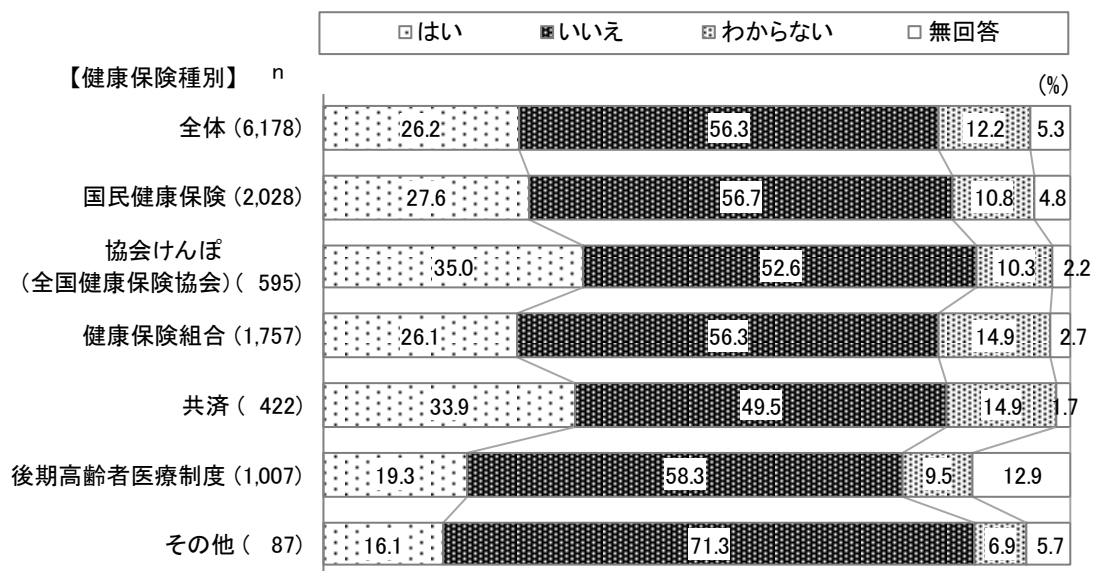


③ 肝炎ウイルス検査の受診状況（問37）

健康保険種別にみると、「はい」は、協会けんぽで35.0%、共済で33.9%と高くなっている。

(図10-3-1)

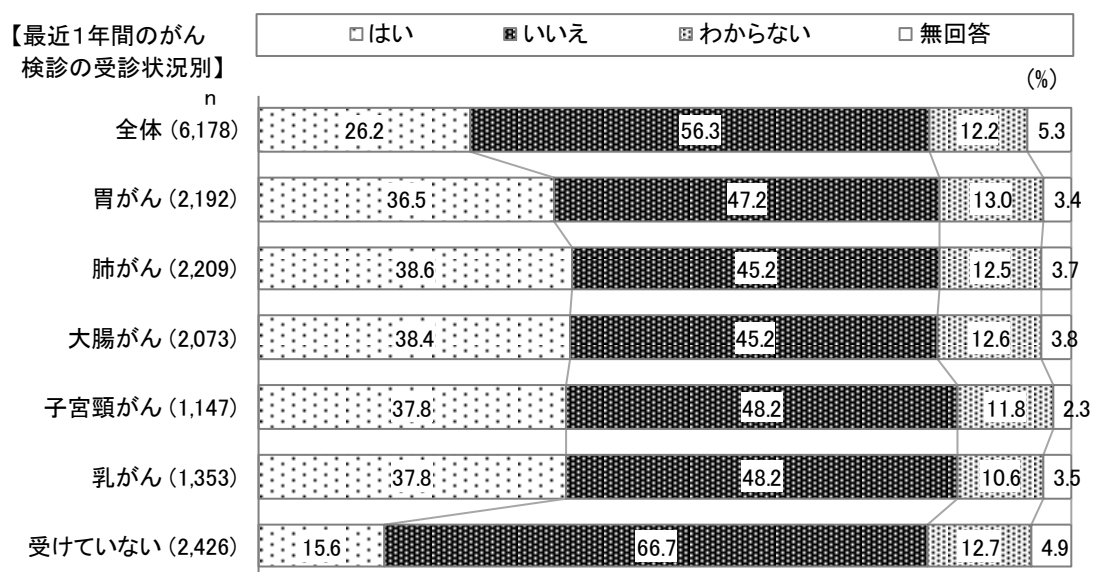
図10-3-1 肝炎ウイルス検査の受診状況（健康保険種別）



最近1年間のがん検診受診状況（問34）別にみると、「いいえ」はがん検診を受けていない人で66.7%となっており、各種のがん検診を受けている人に比べて割合が高くなっている。

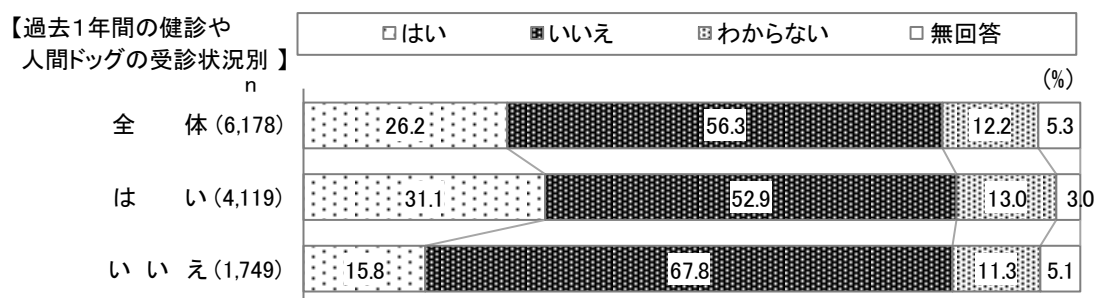
(図10-3-2)

図10-3-2 肝炎ウイルス検査の受診状況（最近1年間のがん検診受診状況別）



過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況（問36）別にみると、「はい」は健診や人間ドッグを受けた人で31.1%となっており、健診や人間ドッグを受けていない人（15.8%）より15.3ポイント高くなっている。（図10-3-3）

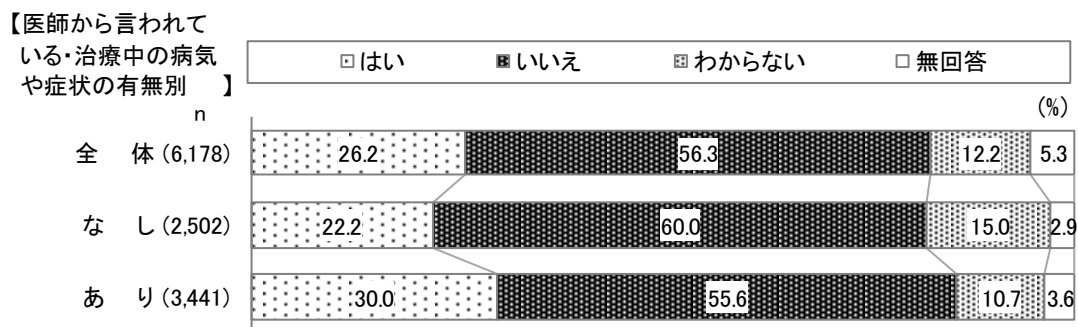
図10-3-3 肝炎ウイルス検査の受診状況（過去1年間の健診や人間ドッグの受診状況別）



医師から言われている・治療中の病気や症状の有無（問38）別にみると、「はい」は病気や症状がある人で30.0%となっており、病気や症状がない人（22.2%）より7.8ポイント高くなっている。

（図10-3-4）

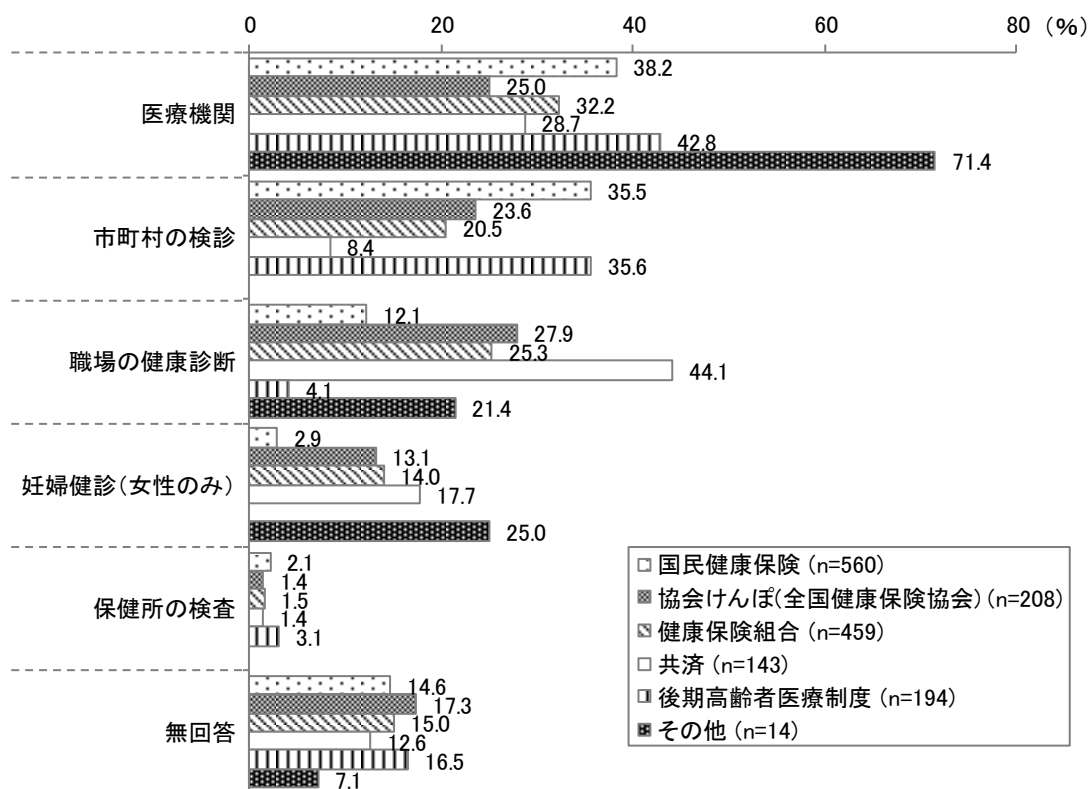
図10-3-4 肝炎ウイルス検査の受診状況（医師から言われている・治療中の病気や症状の有無別）



④ 肝炎ウイルス検査の場所（問 37-1）

健康保険種別にみると、「医療機関」は後期高齢者医療制度（42.8%）、国民健康保険（38.2%）で高くなっている。「市町村の検診」は、後期高齢者医療制度（35.6%）、国民健康保険（35.5%）で高くなっている。「職場の健康診断」は共済で44.1%と高くなっている。（図10-3-5）

図10-3-5 肝炎ウイルス検査の場所（健康保険種別）

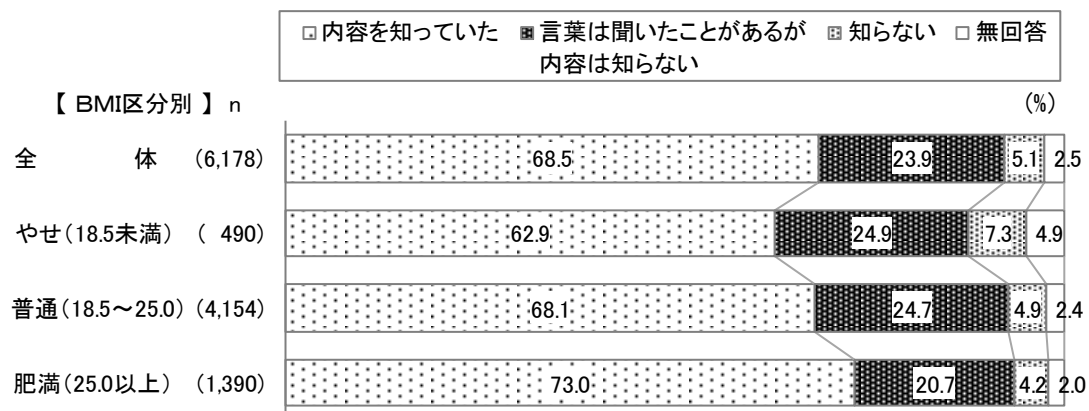


(11) 健康に関する情報

① メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の認知度（問 39）

BMI 区分（問10ア）別にみると、「内容を知っていた」はBMI 区分による肥満度の高い人ほど割合が高くなっている。（図11-1-1）

図11-1-1 メタボリックシンドロームの認知度（BMI 区分別）

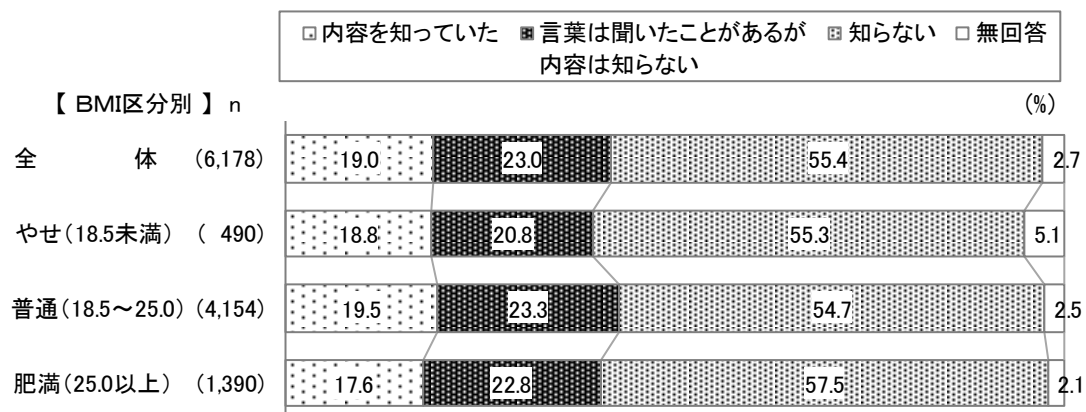


② ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度（問 40）

BMI 区分（問10ア）別にみると、「知らない」は「肥満」で割合が高くなっている。

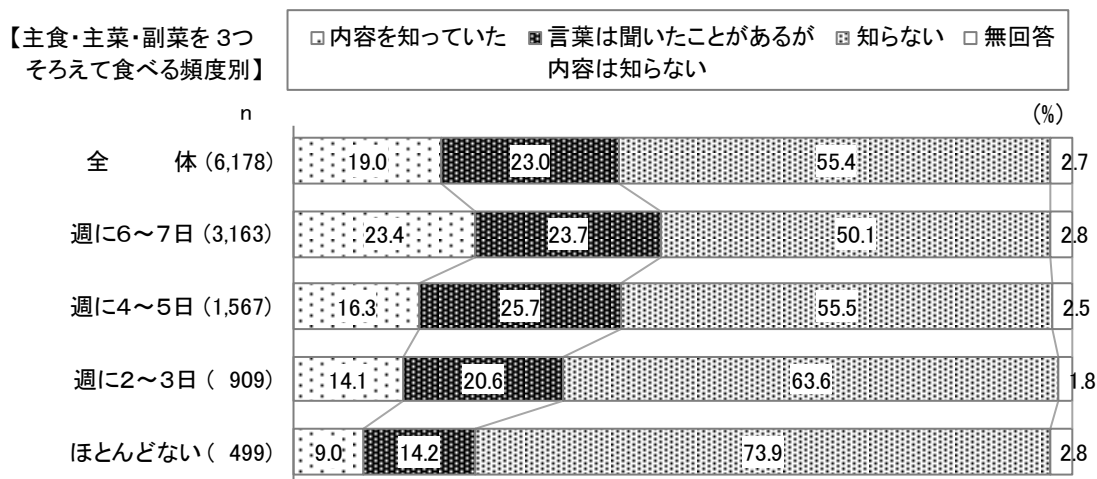
（図11-2-1）

図11-2-1 ロコモティブシンドロームの認知度（BMI 区分別）



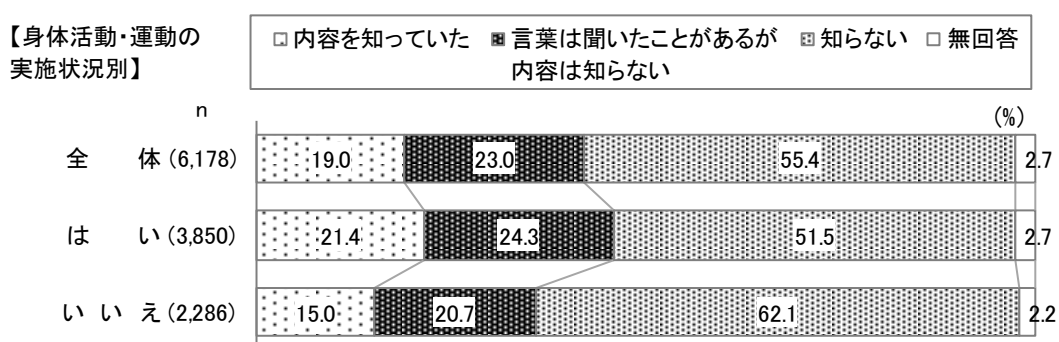
主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度（問14）別にみると、「内容を知っていた」は頻度が多い人ほど高くなり、週に6～7日食べる人で23.4%と最も高くなっている。（図11-2-2）

図11-2-2 ロコモティブシンドロームの認知度
（主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度別）



身体活動・運動の実施状況（問17）別にみると、1日30分以上の運動（週2回以上、1年以上、日常動作含む）を実施していない人は「知らない」が62.1%となっており、実施している人（51.5%）より10.6ポイント高くなっている。（図11-2-3）

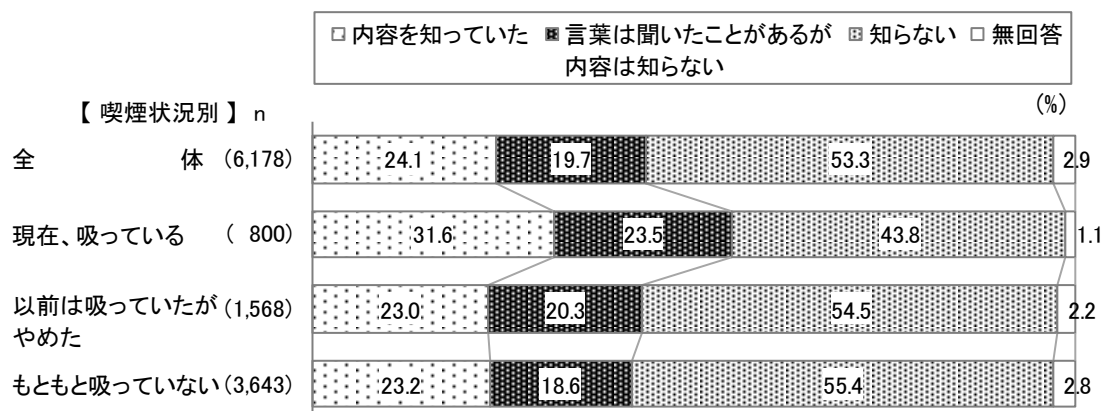
図11-2-3 ロコモティブシンドロームの認知度（身体活動・運動の実施状況別）



③ COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（問 41）

喫煙状況（問24）別にみると、「内容を知っていた」は現在吸っている人で31.6%となっており、以前は吸っていたがやめた人（23.0%）、もともと吸っていない人（23.2%）に比べて高くなっている。（図11-3-1）

図11-3-1 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度（喫煙状況別）

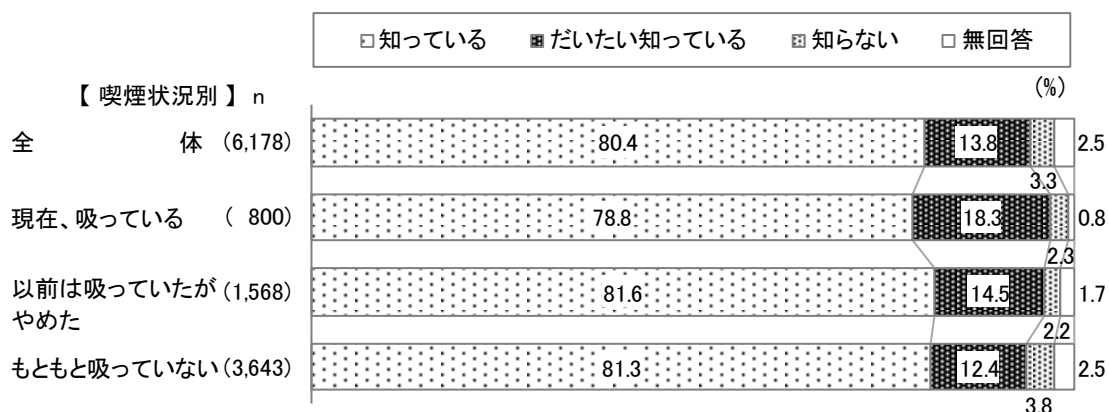


(12) 受動喫煙の防止

① 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（問 42）

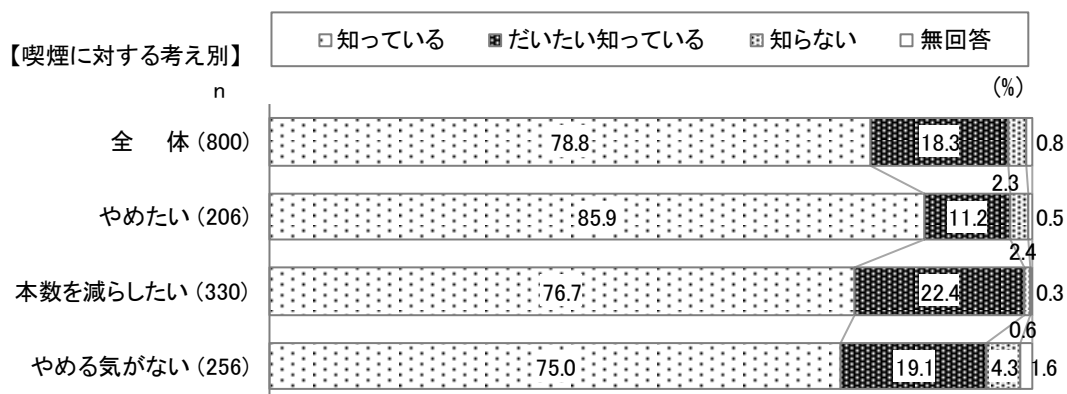
喫煙状況（問24）別にみると、「知っている」は、以前は吸っていたがやめた人で81.6%、もともと吸っていない人で81.3%となっており、現在吸っている人（78.8%）に比べて割合がやや高くなっている。（図12-1-1）

図12-1-1 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（喫煙状況別）



喫煙に対する考え（問24-3）別にみると、「知っている」はたばこをやめたい人で85.9%となっており、本数を減らしたい人、やめる気がない人に比べて高くなっている。（図12-1-2）

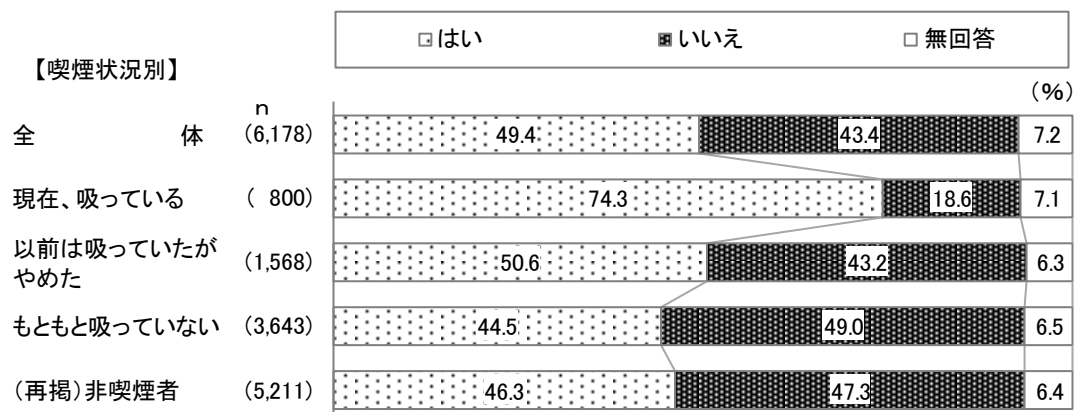
図12-1-2 受動喫煙による非喫煙者の健康の影響への認知度（喫煙に対する考え別）



② 受動喫煙の機会の有無（問 43）

喫煙状況（問24）別にみると、「はい」は、以前は吸っていたがやめた人が50.6%で、もともと吸っていない人（44.5%）よりも6.1ポイント高くなっている。また、非喫煙者の「はい」は46.3%となっている。（図12-2-1）

図12-2-1 受動喫煙の機会の有無（喫煙状況別）

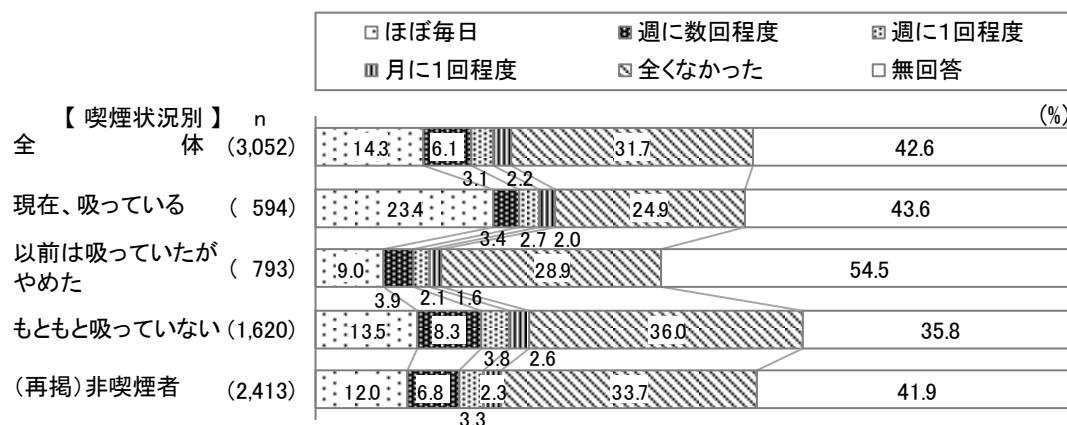


③ 受動喫煙があった場所（問 43-1）

ア 自宅（問43-1ア）※問43で「はい」（受動喫煙の機会があった）と答えた方みの回答

喫煙状況（問24）別にみると、「ほぼ毎日」は現在吸っている人で23.4%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。また、「ほぼ毎日」は非喫煙者で12.0%となっている。（図12-3-1）

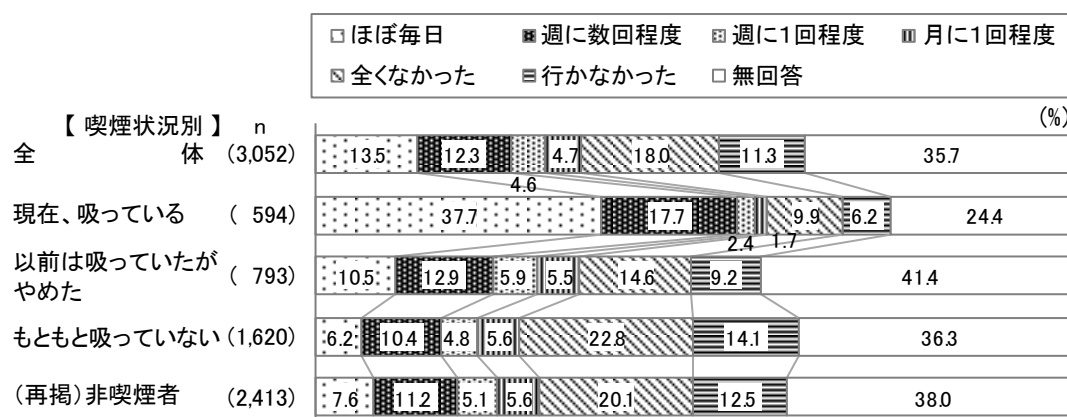
図12-3-1 受動喫煙があった場所 ア 自宅（喫煙状況別）



イ 職場（問43-1イ）※問43で「はい」（受動喫煙の機会があった）と答えた方みの回答

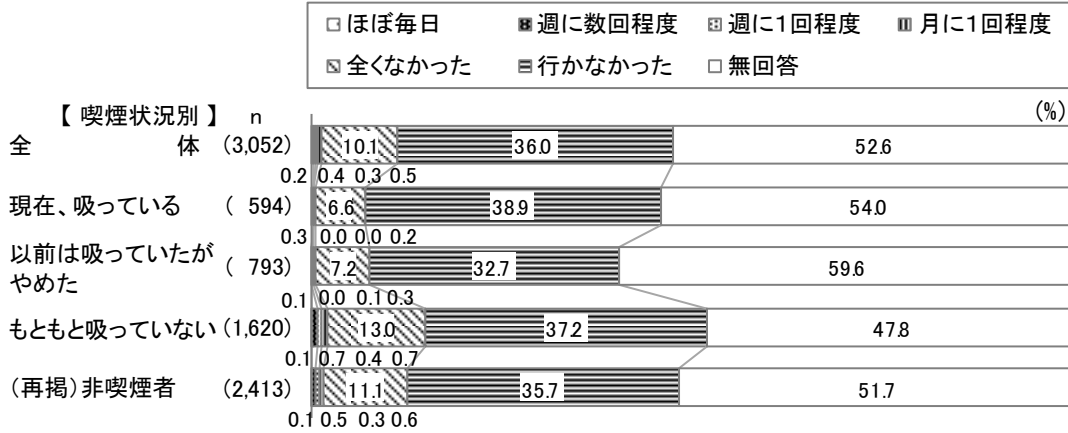
喫煙状況（問24）別にみると、「ほぼ毎日」は現在吸っている人で37.7%となっており、以前は吸っていたがやめた人、もともと吸っていない人に比べて割合が高くなっている。また、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》は、非喫煙者で29.5%となっている。（図12-3-2）

図12-3-2 受動喫煙があった場所 イ 職場（喫煙状況別）



ウ 学校（問43-1ウ）※問43で「はい」（受動喫煙の機会があった）と答えた方みの回答
 喫煙状況（問24）による大きな傾向の違いはみられない。（図12-3-3）

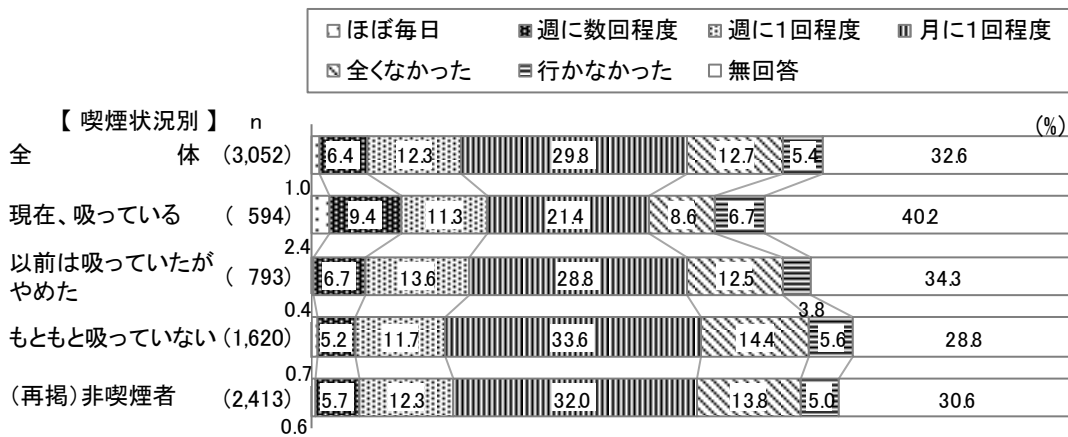
図12-3-3 受動喫煙があった場所 ウ 学校（喫煙状況別）



エ 飲食店（問43-1エ）※問43で「はい」（受動喫煙の機会があった）と答えた方みの回答

喫煙状況（問24）別にみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》は、もともと吸っていない人の割合がやや高くなっている。また、非喫煙者の《あった》は50.6%となっている。（図12-3-4）

図12-3-4 受動喫煙があった場所 エ 飲食店（喫煙状況別）

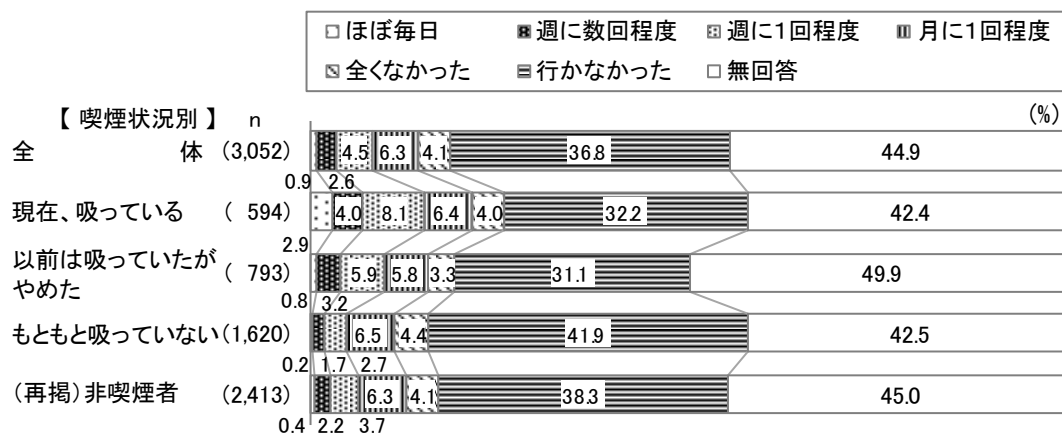


オ 遊技場（ゲームセンター、パチンコ、競馬など）（問43-1オ）

※問43で「はい」（受動喫煙の機会があった）と答えた方だけの回答

喫煙状況（問24）別にみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》は、現在吸っている人で21.4%となっており、以前は吸っていたがやめた人（15.7%）、もともと吸っていない人（11.1%）に比べて割合が高くなっている。（図12-3-5）

図12-3-5 受動喫煙があった場所 オ 遊技場（喫煙状況別）

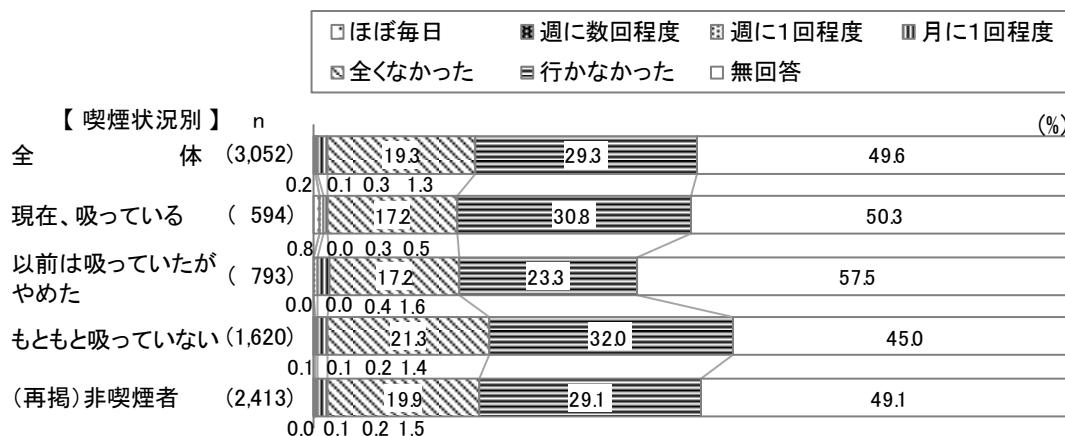


カ 行政機関（市役所、役場など）（問43-1カ）

※問43で「はい」（受動喫煙の機会があった）と答えた方だけの回答

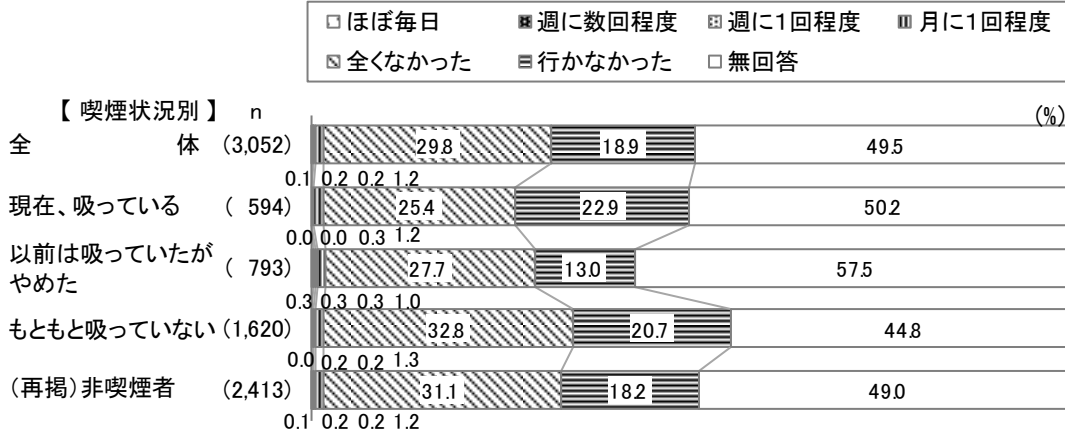
喫煙状況（問24）による大きな傾向の違いはみられない。（図12-3-6）

図11-3-6 受動喫煙があった場所 カ 行政機関（喫煙状況別）



キ 医療機関（問43-1キ）※問43で「はい」（受動喫煙の機会があった）と答えた方だけの回答
喫煙状況（問24）による大きな傾向の違いはみられない。（図12-3-7）

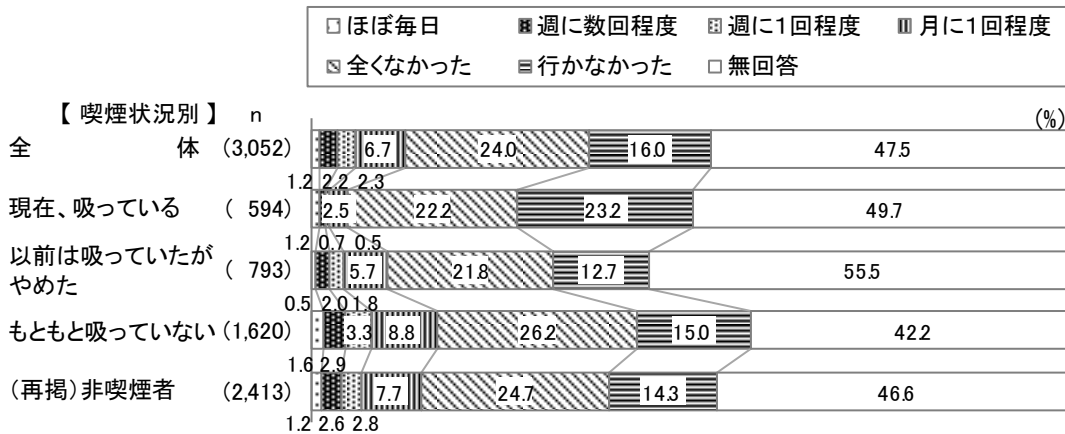
図12-3-7 受動喫煙があった場所 キ 医療機関（喫煙状況別）



ク 公共交通機関（問43-1ク）※問43で「はい」（受動喫煙の機会があった）と答えた方だけの回答
喫煙状況（問24）別にみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」「週に1回程度」、「月に1回程度」の4つを合わせた《あった》の割合は、もともと吸っていない人で16.6%となっており、現在吸っている人（4.9%）、以前は吸っていたがやめた人（10.0）に比べて割合が高くなっている。

（図12-3-8）

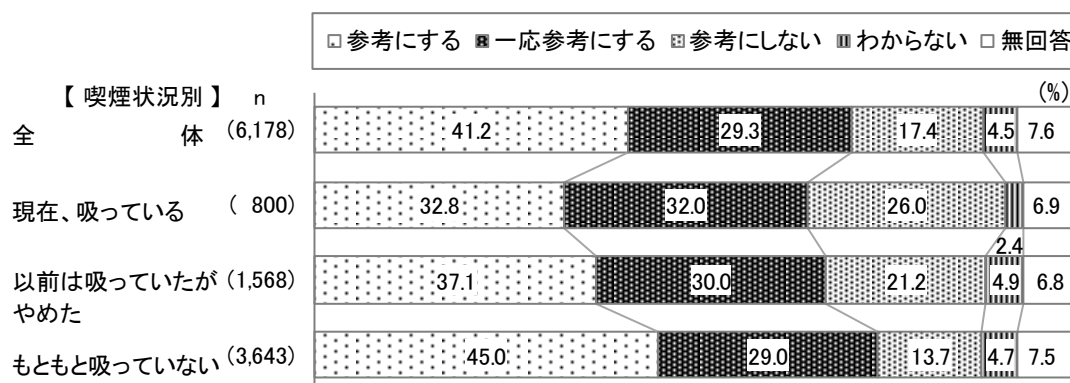
図12-3-8 受動喫煙があった場所 ク 公共交通機関（喫煙状況別）



④ 飲食店選択時に禁煙等の表示を参考にするか（問 44）

喫煙状況（問24）別にみると、「参考にする」は、もともと吸っていない人で45.0%となっており、現在吸っている人（32.8%）、以前は吸っていたがやめた人（37.1%）に比べて割合が高くなっている。（図12-4-1）

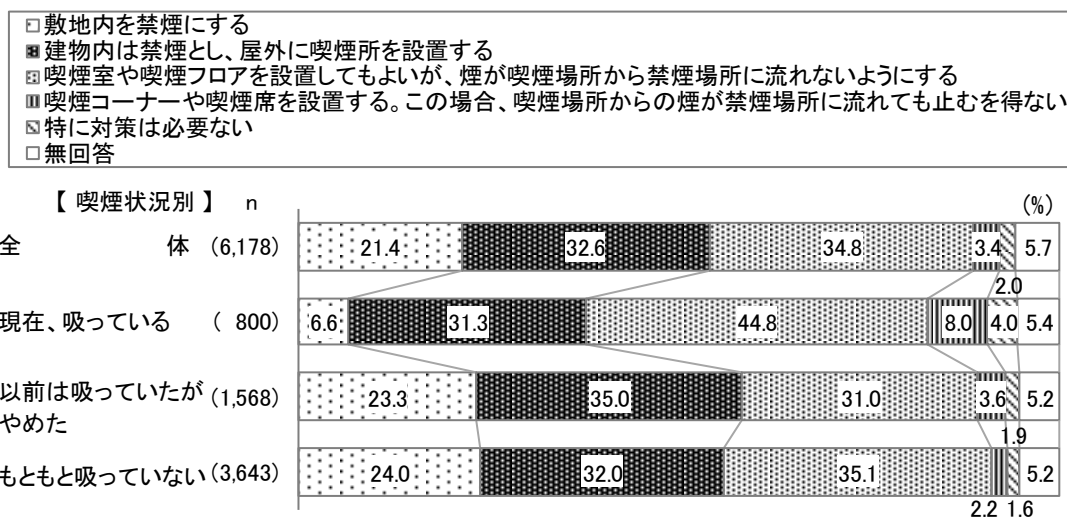
図12-4-1 飲食店選択時に禁煙等の表示を参考にするか（喫煙状況別）



⑤ 不特定多数が利用する施設での受動喫煙防止策（問 45）

喫煙状況（問24）別にみると、「敷地内を禁煙にする」は、もともと吸っていない人で24.0%、以前は吸っていたがやめた人で23.3%となっており、現在吸っている人（6.6%）に比べて割合が高くなっている。「喫煙室や喫煙フロアを設置してもよいが、煙が喫煙場所から禁煙場所に流れないようにする」は、現在吸っている人で44.8%となっており、以前は吸っていたがやめた人（31.0%）、もともと吸っていない人（35.1%）に比べて割合が高くなっている。（図12-5-1）

図12-5-1 不特定多数が利用する施設での受動喫煙防止策（喫煙状況別）

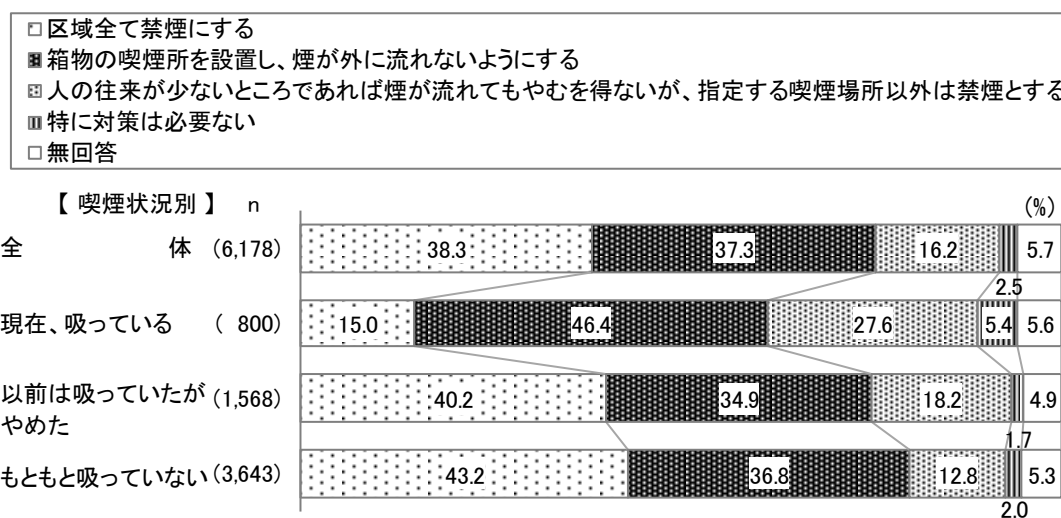


⑥ 子どもの利用が想定される公共的空間での受動喫煙防止策（問 46）

喫煙状況（問24）別にみると、「区域全て禁煙にする」は、もともと吸っていない人で43.2%、以前は吸っていたがやめた人で40.2%となっており、現在吸っている人（15.0%）に比べて割合が高くなっている。「人の往来が少ないところであれば煙が流れてもやむを得ないが、指定する喫煙場所以外は禁煙とする」は、現在吸っている人で27.6%となっており、以前は吸っていたがやめた人（18.2%）、もともと吸っていない人（12.8%）に比べて割合が高くなっている。

（図12-6-1）

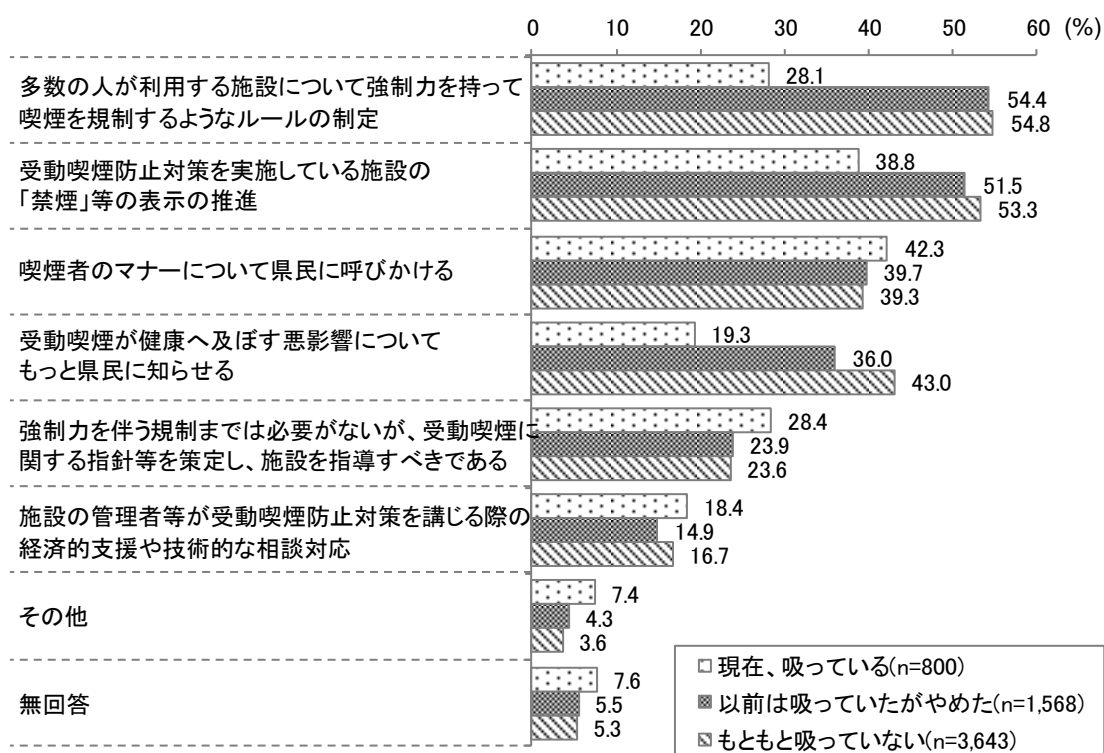
図12-6-1 子どもの利用が想定される公共的空間での受動喫煙防止策（喫煙状況別）



⑦ 受動喫煙を防止するために千葉県に望むこと（問 47）

喫煙状況（問24）別にみると、「多数の人が利用する施設について強制力を持って喫煙を規制するようなルール」の制定は、もともと吸っていない人で54.8%、以前は吸っていたがやめた人で54.4%となっており、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。「受動喫煙防止対策を実施している施設の「禁煙」等の表示の推進」は、もともと吸っていない人で53.3%、以前は吸っていたがやめた人で51.5%となっており、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。「受動喫煙が健康へ及ぼす悪影響についてもっと県民に知らせる」も、もともと吸っていない人で43.0%、以前は吸っていたがやめた人で36.0%となっており、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。（図12-7-1）

図12-7-1 受動喫煙を防止するために千葉県に望むこと（喫煙状況別）



⑧ 建物内禁煙としてほしい施設（問48）

喫煙状況（問24）別にみると、「食堂・レストラン・喫茶店等の食事提供が主な飲食店」はもともと吸っていない人で68.2%、以前は吸っていたがやめた人で64.1%となっており、現在吸っている人に比べて特に割合が高くなっている。それ以外でも、「その他」、「無回答」以外のすべての項目で、以前は吸っていたがやめた人やもともと吸っていない人は、現在吸っている人に比べて割合が高くなっている。（図12-8-1）

図12-8-1 建物内禁煙としてほしい施設（喫煙状況別）

